

意見交換会で寄せられた意見

意見交換会の開催状況(7/28～11/11) 50地区 10未実施、平均18人

会議	開催対象数	開催数	出席者数	意見・質問数	出席者アンケート回答者数
市内50地区	50回	40回	738人	698件	712件
コミセン・市庁舎	10回	10回	63人	154件	61件
環境推進員研修会	9回	9回	198人	97件	192件
計	69回	59回	999人	949件	965件

1 本市を取り巻く環境の変化 ～ ごみ減量・資源化指針の体系と作戦

- ・それぞれの民間の古紙回収ステーションの設置は、どのような状況か。
- ・アルミ缶を集めることができる分別ボックスは、置くことができないのか。
- ・地域で資源分別回収の集積場所を決めるのに揉める。市有地で場所を確保できないか。
- ・粗大ごみの処理袋は、大きさの決まった種類のみであり、小さな処理袋を検討してほしい。
- ・粗大ごみ搬入用ごみ処理票は100円がある。粗大ごみ処理袋も200円券(袋)だけでなく、100円券(袋)も追加できませんか。
- ・分別することにより、資源が活かされるので、自分ができることをがんばりたいです。
- ・分別収集の状況を、ステーション等に掲示などで周知してほしい。
- ・ごみの減量の目標を10万t以下とするのは、どのようにして決定したのか。
- ・作戦という言葉がひっかかる。ウクライナ情勢とどうしても結び付く。戦いを想起させるのでやめた方が良いのでは。
- ・ごみ減量の作戦を、体系的にまとめたことは良いことである。大切なのは、市民に浸透させることであり、住民に訴えかけやすい重点的な取り組みを進めると良い。
- ・ごみ出しのルールを理解していない住民が多い。「岐阜市のごみの減量・資源化について」の概要版は、分かりやすい資料だが、市民に配布する予定はあるのか。
- ・この概要版に、QRコードを記載し、携帯で見られるようにしてほしい。
- ・分別が一般人にも分かりやすいようなチラシが欲しい。
- ・分別して回収することが大切であるが、その仕方を市民に知らせることが大切だと思う。
- ・再利用で作られた、市民が喜ぶようなグッズを開発し、「ごみ分別のルールを守ろう」などのメッセージを書く。
- ・市の常設ステーションが柳津だけではなく、市内に数か所あるとありがたいです。
- ・「アルミ缶は資源分別へ出してください」と記載してある用紙を作ってほしい。
- ・ごみの総量を減量させるには、個人のレベルで今までごみとして処理していた物から、資源になり得る部分を引く作業が必要です。資源となるものの学習と、分別のやり易いごみ箱の設置が必要です。特に、プラごみと雑がみに分別が肝心である。分別用ごみ箱を安く提供してください。
- ・市以外の粗大ごみの回収業者の取り締まりをしてください。
- ・庭木、竹などは資源化できないか。
- ・地球環境の改善のためにも、資源化に力を入れたい。

- ・令和7年度のごみ削減目標の10万tは、昭和50年代の焼却量と同程度であるが、その水準に減らすということか。当時と今は状況が違う。
- ・この概要版を見て、市民は何をすれば良いのかわからない。
- ・ごみ減量・資源化指針の改定としているが、何が改定されたのか、この資料ではわからない。この資料を住民に配っても誰も読まない、資料の用語が難しい。市民への啓発は、ごみの減量の必要性、ごみ処理に税金を、どの位要しているのか、市民は何をすればいいかを、わかりやすく簡単に示したものにしてほしい。
- ・令和7年度までに、ごみの焼却量を10万t以下とする目標は、残り何年もないが。それまでに有料化するという事か。今まで、ごみの削減をしてきたが、このような目標を立てているのは理由があるのか。例えば、雑がみの分別は、各家庭にまだ浸透していないところもある。そういった話と、有料化の話が同じところで示されている。有料化は、中核市では約3割とのことであり、そんなに急がないで欲しい。プラスチック製容器包装の分別収集も、岐阜市は、後発だったのではないかと。
- ・ピーク時に比べ、ごみが減っている理由は、何か。
- ・岐阜市の言う「ごみ減量」とは、どういう意味か。有料化と一体的に、話をしていないか。
- ・発生するごみの全体を減らすのが、減量であり、回収の手間を減らすことや、市の負担額を減らすのが減量ではない。ごみが出ないように努力するのは市民ではなく、企業ではないのか。
- ・プラスチック製容器包装の分別収集が始まったばかりのタイミングで、有料化の話はタイミングが悪い。プラごみがこんなに減ったと考えている。ごみを減らす協力は、皆でやっていくのは大事であるが。有料化を実施している自治体での負担は、どの位なのか。
- ・東部クリーンセンターがある芥見は、ごみ処理を無料にするとか。東部クリーンセンター建設時には、プールを建設するという話もあったが、リフレ芥見は、違う形になっている。そのあたりも考えてほしい。掛洞には、立派な施設がある。
- ・何でも普通ごみに排出する人もいるので、分別できるようになればと思う。プラスチック製品の削減目標が、4,458tとあるが実現できるのか。
- ・紙のリサイクルマークがついていても、においがついているものや、防止加工してある紙などはリサイクルに出せないなど、分別がわかりにくい。現物を見てほしい。(現物を持参)
- ・ごみ焼却量10万トン以下まで削減するという目標は、数年後には、有料化がされるということか。
- ・企業も減量を考えないといけない。
- ・アルミは、今高く売れるのか。民間の資源回収についてどう考えているか。
- ・資源分別のわかりやすいチラシをつくってほしい。
- ・「岐阜市ごみ減量・資源化指針」に掲げている令和7年度の目標達成のための作戦は、いつから始めているのか。
- ・ごみ焼却量は、H9年をピークに減少しているが、その理由をどう分析しているのか。
- ・人口減少で、ごみ焼却量が減るなら、自然と焼却量は、減るのではないかと。
- ・焼却ごみ以外のごみについて示されていないが、資源分別回収等の活動によって、本当にごみ焼却量は、減少するのか。
- ・岐阜市の現状が、他都市と比べてどうかなど、資料だけではあまりわからない。

- 減量を進めるなら、市民の意識改革が必要であるので、このことを示すべきである。
- ・資料からは現状のごみ焼却量から自然減少分がどれだけあり、分別収集でどれだけ減り、今後どれだけ減らす必要があるのかわかりにくい。
 - ・ごみの焼却量を10万tにしようと目指しているのは、燃料費などのごみ処理のコストを減少させる目的なのか、地方公共団体の競争の中で数値を下げる必要があるのか、数値ありきの話か。
 - ・家庭での食品ロス削減への意識向上に取り組んでほしい。雑がみの分別への意識向上に取り組んで欲しい。
 - ・自治会の半数以上が、いつでも出せるため、また近くにあるため、民間事業の回収ステーションを利用している。
 - ・資料1の1ページ目に、ごみ焼却量の推移があるが、大きく焼却量が減っているところ（S54年あたり、H11年あたり）では、何か取り組みを行ったのか。
 - ・今回、コロナ渦で経済が停滞しているので、この先、ごみ焼却量は大きく減少すると思われるが、さらに、ごみ焼却量を減少していく必要があるのか。
 - ・本市を取り巻く環境の変化として、新型コロナ感染症によるごみの排出傾向の変化とあるが、具体的には、どのような変化があったのか。
 - ・プラスチック製品やインクカートリッジの回収は行っているのか。LED機器は粗大ごみなのか。
 - ・家庭系普通ごみの組成のうち、特にどの組成物が、中間目標に未達なのか。
 - ・資源回収は、なぜ毎月同じ日なのか。土、日、祝日の日もある。第2土曜日ではだめなのか。地域で勝手に決めているのか。
 - ・月1回資源分別回収について、自治会加入率60%弱程度の市民を対象とした事業（税金投入）から全市民（全世帯）対象の事業内容に改善すべきである。
 - ・資源回収は、管理者の負担が大きく担い手がいないため、一部の人に役が偏ってしまうので、やめて欲しい。ごみについては、自治会の負担（人手など）に頼りすぎている。（掃除やネット、共同収集、持って行ってくれなかった時の対処）ルールを守らない人の対応が難しい。
 - ・ごみ焼却量の実績の重量は、実測なのか。
 - ・令和7年度の削減目標を10万トン以下としたのは、いつか。また、設定するにあたり、市民の意見は聞いたのか。それとも意見は聞かず、市で算出し設定したのか。
 - ・自治会連合会や婦人会などに意見は聞いたのか。
 - ・市民一人一人の協力を得るには、納得が必要である。アパートの管理会社などに働きかけをしているのか。
 - ・この指針の最終目標は何か。目標をしっかりと掲げることが大事である。焼却量を減らすと市説明よりも、「環境を元に戻す」といったことを前面にPRした方が良い。
 - ・資源物の回収ボックスについて、公民館は9時から16時しか空いていないが、民間はずっと空いており、いつでもおける。防火法の関係で施錠をしなくてはならないと聞いているが、民間は施錠をしていないが、どういうことか。
 - ・民間の古紙等回収ステーションに防火設備がついているのかの確認が必要である。指導を徹底してほしい。民間であろうと条件は一緒にしなければならない。知っている民間のボックスには、消火設備はない。
 - ・「家庭系普通ごみの組成」で「木・竹・わら類」が12.1%もあるが、一般家庭からこんなに

出るものか。

- ・ごみの焼却量の推移をみると、柳ヶ瀬が全盛期であった1980年代のごみの焼却量が、もっとあったと思うが。事業系ごみは入っていないのか。
- ・目標の10万トンの根拠はあるのか。最終処分場の延命などが理由か。
- ・基本方針1の基本施策2について、「ごみ排出量に応じた負担を公平にする」とはどういう意味か。金銭的なことか。
- ・ごみ1/3減量大作戦の中に、作戦6が入っていること自体、納得がいかない。
- ・資源回収の民間業者と市との関係は怎么样了のか。
- ・ごみ減量の目的は、可燃ごみを減らしCO2の減少やリサイクルではないのか。
- ・高齢者など、様々な人がいますので、なかなか理解できなかつたりします。ごみの減量と資源化は、簡単にできることを進めてほしい。
- ・剪定枝の資源化は、どのように行うのか。
- ・意見交換会と言うが、何に対しての意見交換なのか。
- ・なぜ目標10万tなんですか。11万tでどんな問題があるか。資源化することによって、分別する以前と比べて費用がかかるのでしょうか。
- ・ごみ処理に係る経費の観点から、どのごみを減らせば良いか、増やせば良いか説明して欲しい。
- ・各地区の1人当りのごみ量が知りたい。一部の地域だけ減量しても仕方ない。
- ・私の地区の広報紙で、SDGsやプラ容器包装の分別収集を取り上げた。自身も家庭での分別や自治会会合時の配布資料を最小限にするなど取り組んでいるが、一人一人が率先して実行する必要がある、これからもできるだけ、減量や資源化に取り組んでいきたい。
- ・資料1頁の5、基本方針3中、基本施策5に「生活様式にあわせた資源分別の機会をつくる」とあるが、これについて、もう少し説明を願いたい。
- ・1頁のごみ焼却量の推移のグラフには、事業系のごみも含まれているか。
- ・新型コロナ感染症による、ごみの排出傾向の変化とは、どのようなことか。
- ・SDGsの推進の一環として、市でマイクロプラスチックを減らす努力をしていくのか。
- ・市で集めたごみは、大半を燃やしているのか。
- ・今回、様々な取り組みなどを知ることができた。市民の意識を変えることが必要と思うので、啓発をどんどん行って頂きたい。
- ・焼却量の推移は、昭和42年から10年くらい右肩上がりに増えているが、その原因は分析しているのか。このように増えた原因をはっきりさせ、その原因を取り除くことで減量につながるのではないかと思う。そうした視点も必要ではないか。
- ・家庭や事業者から出るごみの総量と資源化されたごみの総量が分かれば教えてほしい。排出されるごみの量そのものを大幅に減らすということはできないと思うので、いかに分別して資源化するかが大切だと思う。現在の焼却量と資源化量を合わせるとどれ位か。燃やすごみの量をいかに減らし、資源化するかということになる。
- ・焼却量のグラフは、事業系も含めたものか。また、円グラフで家庭系普通ごみの組成データは、記載があるが、事業系のデータはとっているのか。
- ・「岐阜市のごみの現状」中の焼却量の表中に、「差異4,759t」とあるが、この差異は、どこから生じてきたか、データはあるのか。

- ・私の地区では、各務原市、岐南町と隣接しており、自治体で制度が異なることから他自治体住民のごみが持ち込まれている現状があるため、広域的な面として制度の統一性を持ってないかと思う。
- ・私の地域で、自治会役員をしているが、自治会加入率は約50%で、加入者にはごみ出しのルールが家庭に配布されるが、未加入世帯はどうか。
- ・ごみ焼却量10万トンの数字の根拠を教えてください。
- ・分別において、ごみ袋を使うことがほとんどである。レジ袋有料化によって、袋はタダでもらえない。無理に袋を使わせるのはどうか。例えば、ビンは袋に入れなくても良いなどしたらどうか。そこから見直しをすべきだと思う。
- ・古着の再利用が出来ないものについて、繊維原料として再利用は考えられないか。
- ・資源分別回収事業をすべて民間委託すれば良いと思う。
各自治会は、家庭ごみの方で協力すれば良いと思う。

2 作戦1 (多様な資源ごみ回収を促進する)

- ・他所から転入してきた人から、岐阜市はごみ資源の分別が甘いと言われる。分別の周知は、最初が肝心だと思う。市の情報発信は弱いのではないか。今後の見通しを教えてください。
- ・古着の出し方として、雨天の時は控えるように言われているが、何故か。
- ・ごみ箱がコンビニなどから無くなったのはなぜか。
- ・回収拠点が増えれば、不法投棄が減るのではないか。回収拠点を増やしてほしい。
- ・ごみ出しのルールを市民に周知するのに、いいアイデアはないのか。
- ・資料に示されている「市民が参加しやすい資源分別回収事業」とは何を指すか。
- ・「粗大ごみの再使用・資源化促進」とは、どういう意味か。
- ・分別回収は、地域の収益に繋がるが、民間の古紙等回収ステーションについて、市はどのように考えているのか。
- ・資源ごみは、民間ステーションと地域の分別回収にどちらに排出しても良いが、地域の回収に出したほうが良いという考えか。
- ・古着の回収は、雨が降るとして行われたい。回収されなかった古着等のごみについて、事後の連絡体制は、どうなっているか。
- ・衣類の回収は、雨天の時は中止になるが、その判断が前日など、直前になってしまうと連絡が大変である。市から、回収業者に指導してもらえないか。
- ・粗大ごみは、岐阜市では有料化されているが、各務原市では無料である。なぜ、岐阜市は、無料でないのか。
- ・資料に、民間の古紙等回収ステーションの設置状況を調査するとあるが、民間のステーションはどんどん増えているように感じる。市で、設置を斡旋しているのか。
- ・民間業者が、回収した量は把握しているのか。
- ・民間の業者が回収した量の何割かを、自治会に還元すると聞いたことがある。
- ・粗大ごみは、どう処分すれば良いか。
- ・資源分別回収の収集量が減っている。民間の回収ステーションが増えていることによると思うが、市として、どのように考えているのか。
- ・民間の回収拠点が増えていることは承知しているが、地域の方々も協力しているので、

協賛金といった制度を考えてもらいたい。

- ・資源分別回収の古着について、雨による中止の判断でいつもトラブルになるが、何とかならないか。
- ・古着の回収は、前日の夕方頃に業者から中止の連絡が入り、そこから地区長に連絡するが、周知が間に合わない。また、雨の日は回収しないと前もって周知はしているが、当日の朝、晴れていたとき、公民館へ 電話が殺到したケースもあった。そういった電話のやり取りに疲弊している。市と委託業者で綿密に協議してほしい。
- ・資源分別回収の日が雨の日に古着回収するかどうかは、市と業者で相談して決めるのか。
- ・資源分別回収で、毎月悩まされて嫌な思いをしている。自身の自治会連合会としては、古着を集めない、民間のステーションを利用してもらいたいと個人的に考えている。市の環境部とも相談したい。
- ・住民には、雨の日には、古着を集めないとお願いしている。それでもダメなら、市が取りに来てくれると伝えているが、なかなか上手くいかない。こういうことが続くのであれば、私の自治会連合会としては、古着の回収は止めざるをえないと考えている。
- ・QR コードやAI チャットボットの案内など、一般市民にとっては内容がわからない。
- ・市の指定管理施設に回収拠点を設置とあるが、ごみを持っていくことが億劫なのだが、どういうことか。また剪定枝の収集制度の構築とは、どういうものか。
- ・資源分別回収量が減少している。月1回の回収を、2か月に1回へ変更できないか。
- ・民間のステーションで回収した古紙等はどこへ行くのか。
- ・金属ごみ等、何でも持っていきような業者はどこへ持っていくのか。
- ・カンの回収日に、金属の傘の骨を出したが、回収して貰えなかった。ビンのふた等の小型金属は、どう処理したら良いのか。
- ・剪定枝について、具体的なことを構築するとは、何を構築するのか。
- ・私の自治会連合会では、木をチップにできる機械を宝くじの助成で購入した。予算を確保して市で導入したらどうか。
- ・ごみゼロやクリーンシティぎふで草刈りをした際に草が、沢山出ると思うが、たい肥工場に持って行ったりしているのか。結構出ると思うので、普通ごみと一緒にしない方法を考えた方が良い。
- ・資源分別回収を自治会でやるかやらないかは、岐阜市で決めているのか。
- ・民間が設置している古紙などの回収ステーションは、設置に際し、市が許可を出しているのか。
- ・資源分別回収は、地域の収入になるが、個人には還元されない。スーパーの回収場所に出すとポイントが付いたりする。市は個人への還元についてどう考えているのか。
- ・資源分別回収の利用について、市に、市民への説明やPR をお願いするとともに、自治会連合会としても今後もPR していきたいと思う。
- ・民間の古紙等回収ステーションが増えているが、地域では資源分別回収に取り組んでおり、余り増えるのもどうかと思う。
- ・民間の古紙等回収ステーションで、自治会が関与している数は把握しているか。
- ・草は、ごみのどの分類に該当するか。
- ・発泡スチロールは、今でも月1回の公民館での回収を行っているか。
- ・作戦1の分析で、資源分別回収量は減っているが、民間の古紙等回収ステーションの回収量は

増えていること、また、資源分別と民間を合わせた回収量の合計は変化がないとの記載があり、現在の状況がよく分かった。他に、紙ごみの状況などの様々な情報も、SNSなどでぜひ積極的に市民に発信してほしい。

- ・古紙回収用ボックスについて、民有地にもボックスを設置することが出来るようになった。かつては、各校区に1箇所、その後2箇所までボックスを設置できるようになったが、それ以上に設置されるということか。
- ・資源分別回収の回収量が減っている。月に1度の回収では、働いている世帯などは、限界がある。高齢化の問題もあり、家の近くにステーションを増やしたり、どの時間でも持ち込みができるような場所をつくるなど、今の世代のライフスタイルにあった制度が必要である。
- ・民間の古紙等回収ボックスの現状と、今後に向けた市の考えはどうかか。
- ・私の地域の資源分別回収では、まだビンが出されていることがあり、まだまだ市民に徹底されていない。
- ・資源分別回収での回収量は減っているものの、総量は同じくらいということで、その分は民間ステーションへ流れているのかと思う。資源分別回収の出すのは高齢者が多く、若い世代はほとんどないのが実情なので、そういうことも考慮しないと資源分別回収の回収量は増えないのではないかと。また、プラごみの出し方も、人それぞれでとらえ方が違うので、その辺を分かりやすく周知・啓蒙することが必要だと思う。
- ・資源分別回収で回収したものと民間ステーションで回収されたものは行き先が違うのか。民間でも同じなら、民間が増えても問題はないということにならないか。
- ・古紙回収用ボックスのダンボールがすぐに一杯になってしまうため、なかなか取りに来てもらえない。月に1回の回収では足りないため2~3回取りに来てもらうよう市から要請してほしい。
- ・資源分別回収日に、現地を回り、立当番に指導しているが、年1回程度しか実施しない団体は、分別の理解が難しいので、(環境推進員が)回収時間内に回り切れない。特に、紙類の指導が難しい。もっと詳しい啓発資料を出してもらえないか。
- ・季節的なものだが、剪定枝を出すのが1世帯あたり2~3袋でも、同日に複数世帯で出されると、ごみステーションが一杯になってしまう。
- ・剪定枝は、沢山出た場合、普通ごみとして排出するのに罪悪感がある。業者のルールとして、一ヶ所に、大量に置かないようにということがあるか。

3 作戦2 (紙ごみを減らす)

- ・雑がみの奨励金が8円/kgなのに、その他の資源が6円/kgなのは、何か理由があるのか。
- ・紙おむつについての作戦は、どこに示されているのか。排出状況が分析されているのに、なぜ作戦になっていないのか。めんどくさい問題は示さないということか。
- ・紙ごみを減らすというが、そもそも毎朝、要らない新聞広告がいっぱい入って来る。そちらの方が問題ではないか。
- ・普通ごみの中に紙類が多くても、よく燃えるので良いのではないかと。
- ・雑がみの分別を強化するとあるが、自治会でこれ以上回収量を増やすのは難しい。回収量を増やしたいのであれば、民間ステーションでの雑がみ回収を促進するべきでは。

- ・雑がみの奨励金が高く設定されていることを知らない人が多い。
- ・情報発信が必要である。雑がみ大辞典に「書籍・本」の項目がない。
- ・行政としては、民間の古紙回収と、資源分別回収のどちらが良いと考えているのか。
- ・雑がみ回収の台紙は、住民に不評である。以前のように雑がみ回収袋に戻してもらえないか。
- ・雑がみを分別するため、家の紙袋に入れようと思うが、最近その紙袋が手に入らない。
- ・紙容器で中身がプラや銀紙になっているもの(紙容器の日本酒等)は紙ごみでいいのか。
- ・牛乳パックやジュースのパックは、普通ごみとして良いのか。
- ・雑がみの分別を強化するとあるが、民間の古紙等回収ステーションが増え、業者が扱う量が増えるほど、市の資源分別で扱う量が減るのではないか。市としては、どちらが増えることが望ましいのか。
- ・自治会としては、資源分別回収に出すほうが、奨励金が入る分、利点と考えれば良いか。
- ・雑がみ回収に利用する台紙を作成・配布とあるが、知らなかった。
- ・雑がみは、普通ごみと一緒に出す方も多くいる。周知徹底を根気よく進めてほしい。
- ・雑がみ体験回収袋が無くなったが、なぜか。
- ・チューインガムの紙などの小さい雑がみは、どうやって分別すれば良いか。
- ・雑がみとは何か。
- ・フリーペーパーとは何か。
- ・資源分別回収の雑がみ回収が、月に1度しかないため、普通ごみに入れてしまう。近くに、古紙回収用ボックスがあると良い。
- ・雑がみ回収に利用する台紙は、どのようなものなのか。
- ・雑がみの回収台紙は、配布しているのか。
- ・市庁舎でも多くの紙を使っているが、それらは、この作戦には含まれているのか。家庭で使っている紙だけが対象なのか。
- ・紙製で使い捨てのカトラリーとはどんなものか。
- ・岐阜市は、シュレッダーにかけた紙を、資源物として回収しないのか。私の会社では、シュレッダーにかけた紙を再生業者に引渡し、再資源化している。岐阜市が、シュレッダーにかけた紙を資源物として回収しないのは、おかしい。
- ・私の地区では、イベントを実施する際、雑がみの回収も行っており分別回収の意識も高まっている。啓発活動をもっと行い、分別意識を高めれば、ごみが減っていくと思う。
- ・民有地等における古紙回収用ボックスの設置拡大とは、どういうことか。私は、町内でやっている分別回収は減少させ、ボックス設置にウェイトを置いていいと思っている。
- ・雑がみの回収が月1回では、とても量が多い。週1回に変更できないか。
- ・紙と表示してあっても、実際はビニールコーティングがしてあり雑がみとして出せない場合があり判断が難しい。雑がみとして出せないものは、紙と表示するのをやめさせてほしい。
- ・お酒の紙パックの中には、内側がコーティングされているものとされていないものがある。コーティングされていない内側が白いものについては、牛乳パックと同様に処理して良いか。
- ・牛乳パックは、雑がみなのか。前は高い値段だったが、雑がみより値段が良いのか。
- ・もっとリサイクルの啓発をすべきである。家庭ごみの中に、雑がみ(新聞紙、厚紙、段ボール紙など)

が非常に多い。これらを分別できれば焼却するごみを減らせるのではないか。また分別すればこれくらいコストが落ちてごみが減るというデータがあると啓発に使いやすいと思う。

例えば、牛乳パック 30 枚で、トイレットペーパー 1 個になると聞いたことがある。

- ・行政自身もノンペーパーを心がける必要がある。
- ・紙ごみの種類として、紙おむつが多いと記載があるが、少子化対策等に逆行するメッセージとして伝わってしまうのでは。
- ・紙ごみの回収拠点が少ない。
- ・雑がみの回収量は、増えているのか、減っているのか。
- ・雑がみの回収量を増やすための策は、何か考えているのか。
- ・宛名等、他人にみられたくないものは、シュレッダーにかけるが、細かくしたごみは、雑がみになるのか。
- ・雑がみ回収体験袋は、何枚でももらえるのか。
- ・紙おむつは処理上、障害になっていないか。燃えるのか。
- ・紙ごみの対策が遅れているのではないか。
- ・地区で2か所までしか古紙回収用回収ボックスは設置できないが、私の地区は、市内で回収量が一番で、頑張っている。また、回収ボックスの設置個所も市有地に限られているが、地区内に市有地がどこにあるのかわからない。
- ・普通ごみの中の紙類を減らすには、雑がみを回収するのが良い。以前配布された雑がみ回収袋を再度配布してはどうか。あの袋は、非常に効果がある。分別回収に協力してもらえなくなってきているので、回収方法も検討された方が良い。
- ・紙マークがついていても市が回収していない紙ごみがあるが、なぜか。
- ・以前、別の意見交換会のようなものに参加した際、雑がみ回収の台紙について知ったが、その存在を知らない人もたくさんいる。自治会員全員に行き届いていないがどうしたら良いか。
- ・紙ごみの割合が一番多いが、どのような対策をしていくのか。
- ・岐阜市は、今回もこのような意見交換会の資料を配布したり、広報ぎふを月2回も配ったり、むしろ行政こそ率先して、紙ごみを抑えるべきではないか。
- ・民間の古紙回収ボックスは、有料化になっていくのか。
- ・封筒のビニールのフィルムを剥がして、紙ごみとして出すのが面倒です。
- ・作戦の大きなものとして、雑がみ回収が強く推奨されているが、雑がみの回収量は、一時増えたが、それ以上増えていないようである。資源として分別することの市民への更なる徹底が必要だと思う。
- ・プラ製容器包装の分別回収が始まり、家庭でのごみはプラごみが8割、紙ごみはほんの少しだと感じている。また、家族が健康上の理由から紙おむつを使っているが、分別の手立てはないものかと思う。
- ・雑がみの回収量は、従前の雑がみ回収袋と回収台紙を比べて、回収量は実績としてどう変わったのか。
- ・雑がみの回収だが、最近では、各家庭に紙袋があまりないのが実情である。以前あった雑がみ回収袋があると家庭でも取り組みやすいことから、地域では前の回収袋が良かったとの声がある。雑がみの回収量も以前より減っている。

- ・雑がみをビニール袋に入れて出すことは可能か。
- ・窓付き封筒で、窓の部分が薄い紙で出来ている封筒は、雑がみに出せるのか。
- ・プラごみには、プラマークの表示があるが、雑がみには、そういった分別マークはないのか。
- ・かつて、市は、雑がみ日本一を目指すと宣言されたことを覚えているが、それ以降も雑がみの回収量は増えていないように思う。雑がみをより上手く集める方策を考える必要があると思う。
- ・紙ごみについて、個人名などの情報が記載された紙を雑がみで出した場合に、その先どのように処理されていくのか気になるが、その点はいかがか。また、百科事典などは、出していいのか、コロナで説明会が開催できない中で、回覧が効果的と思うので、単純明快な、見て分かりやすい資料の回覧をお願いしたい。
- ・紙ごみを減らすとあるが、そのほとんどがダイレクトメールやチラシである。そのようなものを発生から抑えるべきではないか。事業者の負担を検討したことはあるか。
- ・チラシの回収ボックスを置いてもいいのではないかと。ごみとして出たものは仕方ない。ごみの元を絶たなければいけない。
- ・民間の古紙等回収ステーションと資源分別回収を合わせた資源の回収量は横ばいということであるが、これ以上、資源分別回収量を増やすというのは、民間ステーションの業者が苦しむだけである。ごみに含まれている紙ごみを資源として生かすということが弱いと思う。
- ・「雑がみグランプリ」の短期競争は無意味。通年量とすれば伸びしろはあると思います。
- ・雑がみ回収台紙はいいが、回収袋がほしい。以前あったようだが簡単に入手できると有難い。
- ・紙類の種類を少なくして分別を分かりやすくし、回収量を増やすようにしてはどうか。
- ・雑がみ回収袋が不足している。

4 作戦3 (生ごみを減らす)

- ・電気式生ごみ処理機補助制度は、良い事業だと思う。
加えて、新築住宅のディスポージャーへの補助制度などもあれば良い。
- ・3R クッキングとは、何か。
- ・ダンボールコンポストで作った余剰堆肥が消費し切れないう。どうすれば良いか。
- ・ダンボールコンポストを家族で行っているが、できた堆肥の使い道がない。
市として、取り組みを進めるのであれば、活用の仕方を示してもらいたい。
- ・電気式生ごみ処理機補助は止めたほうが良い。その後、ごみとして捨てる例が多い。
- ・電気式生ごみ処理機の補助とは、ディスポージャーのことか。ディスポージャーを推奨すれば、生ごみを発生抑制できるが市の考えは、ディスポージャー普及を推奨されたい。
また、希望すれば、一般家庭で取り付けて良いか。
- ・3R クッキングとは何か。
- ・ダンボールコンポストは、臭いや設置場所の確保の問題があり、家庭に設置できる家は、ほとんど無いのでは。
- ・電気式生ごみ処理機は、大量の電力を消費すると聞いている。
- ・ダンボールコンポストについて、4月から価格が相当値上がっている。
補助金は、今のまま変更しないのか。
- ・ダンボールコンポストについて、畑を持っていない人は、結局使い道がない。

地域での活用方法を構築するとあるが、どのような計画をしているのか。

- ・電気式生ごみ処理機を使っても、発生したものを扱う場所がない。
- ・ホームページで配信しても、関心のない人は見ませんよ。畑が無いのにわざわざ、ダンボールコンポストを買って堆肥を作ろうと思わない。
- ・生ごみを個人で堆肥化しても使うあてがないとなかなか進まない。
また、生ごみは、各家庭では分別しており、排出の際に他のごみと併せて普通ごみに出している。収集した普通ごみから生ごみを、市で別途分別することはできないか。
- ・生ごみだけを分別回収することは、できないか。
- ・作戦3の「作戦の主な事業」中に「電気式生ごみ処理機」と記載があるが、どのようなもので、どういった補助があるのか。
- ・ダンボールコンポストとは何か。
- ・ダンボールコンポストによる生ごみ減量に継続して取り組んでいるが、市の補助制度は、今後ともぜひ継続してもらいたい。また、もっと多くの皆さんが実施するようになればと思う。
- ・少人数世帯では、家庭で料理をせず、スーパーで総菜などを買ってくるのがよくある。
この場合、生ごみは家庭からは出なくなるが、一方、スーパーの生ごみが増えることになる。
この関係をどのように捉えているか。
- ・生ごみの堆肥化を推進してください。
- ・ダンボールコンポストやっていたが、最近では、庭に埋めている。できた堆肥を他所に持っていくのも、結構大変である。それよりも、バック型のような持ち運びが簡単にできるコンポストなど、色々な形のものもある。また、マンションの人は、堆肥を持っていく場所がないので、丁寧に、循環ができるよう工夫してほしい。
- ・ダンボールコンポスト講座を、学校で行ったが、親の協力がいるため難しい。
大人に向けてどう啓発していくか、教えていただきたい。
- ・地域の集まりや、子どもエコクラブで親子のダンボールコンポスト講座を行った。しかし、いつも最初だけで、継続が難しい。半分以上の方が継続出来ず、反省している。
途中で交流を行うのも、1つの手だと思う。また、できた堆肥で花を育てるなど、楽しんで行えれば良いと思う。
- ・生ごみ対策は、喫緊の課題となっている。かつて、プラスチックコンポストの補助金制度があったと思うが、今も継続して行っているか。ダンボールコンポストの耐久年数、そして、正規の金額が幾らで、補助額は幾らなのか、また、何処で購入できるのか。
購入先は、どこかに掲載されているのか教えてほしい。

5 作戦4（プラスチックごみを減らす）

- ・プラスチックの分別で、名古屋市など、他都市と連携することで改善されないのか。
- ・プラスチック製品も回収すると良い。
- ・プラスチック製容器包装の分別回収によって、東部クリーンセンターの売電量はどの程度、減少したのか。
- ・新しいリサイクルセンターの見学をしたが、説明の中でプラマークがついているものしか対象でないとされた。判りづらい。また、汚れのついたものはどうすれば良いのか。

- ・プラスチック製容器包装の分別回収が始まって、普通ごみは、どれ位減ったのか。
- ・プラの分別収集によって、焼却ごみは、どのくらい減っているのか。
- ・企業がストローをプラスチックから紙へ変更しているが、ストローは普通ごみか。
- ・プラスチック容器包装を行わない企業に補助金を出すなど、プラ容器を使わない販売方法を促す施策を考えているか。
- ・プラスチック製品の資源化について、先行事例を踏まえる必要があるのか。
岐阜市が先進的に取り組めば良いのではないか。
- ・プラスチック製のフォーク・スプーンは、なぜプラスチック製容器包装の対象にならないのか。
- ・ごみの元（過剰包装等）を少なくすることも必要ではないか。プラスチック等の再生には、再生する為のエネルギーのほうが多いということも聞くがどうか。
- ・プラスチック製品の回収についてもリサイクルする方向で進めて欲しい。
- ・プラスチックのごみは、再利用を目指すことが前提だと思うが、他市町はそこまでやっているのか。ペットボトルの再生の報道をよく見るが、岐阜市独自の取り組みとしてPRしてはどうか。
- ・昔、岐阜市のごみ焼却場はできが良く、焼却の効率が低いことから、プラスチックを入れてほしいって言われた記憶がある。昔の人はその時のプラスチックを燃やしたほうが良いというイメージがある人が多いため、プラスチックを入れなくてもいいような広報したほうが良いと思う。
- ・プラスチック製容器包装の量が増えている一方、普通ごみの量は格段に減っている。市はもっと、プラスチックの収集に力を入れていくべきである。実際に集めてみると、プラごみの袋を上から押さえると、カサが小さくなってより多く集めることができる。そのような収集のコツなども市民に伝授してほしい。
- ・プラスチック製品を減らすとは、プラ製品を買うなどということか。今まで、プラスチック製品の分別はしてきている。
- ・家庭では、雑がみやプラスチック容器包装の分別を、子どもに指摘されることもあり、子どものうちから教育していくことが大切だと思う。
- ・子どものプラ製のおもちゃなど、プラ製品は回収できないのか。
- ・新リサイクルセンターを見学した際に、住民は、まだプラごみの分別意識が低いと感じた。また、忙しくて分別が出来ない方もいると思う。今後も周知徹底をしていくべきである。また、プラスチック製品を「再生」しても、再生したものが、不要となって、流出することも考えられる。プラスチックの「再生」は、本当に環境を守ることに繋がるのかを一度考えてほしい。
- ・エコアクションパートナーの数は、どのくらいなのか。過剰包装は、まだまだあると思う。
- ・お皿を持参してお弁当を買いに行ったが、保健所の指導があり、それはできないとお店に断られた。その辺りの対応が柔軟にできるような制度になれば良いと思う。
- ・プラ製容器包装の分別回収が始まり、家庭での普通ごみの量が、かなり減った。
分別回収開始に伴い、市の新たなリサイクル施設ができたとのことだが、回収したプラ製容器包装は、有効に利用されているのか、お金にはなるのか、また、焼却量が減ることでどんなメリットがあるのか伺いたい。
- ・プラ製容器包装の分別回収が始まり、私たち市民は分別、市は収集して、リサイクルに

取り組んでいるが、身の回りのごみを見ても過剰包装が多く、商品の生産者側の意識が低いように思われる。市では、どう考えているか。

- ・プラ製容器包装は、分別を始めたが、それ以外のプラ製品は、粗大ごみに出している。近いうちに、プラスチック製品の収集も考えているのか。あるいは、まだまだ先の段階なのか。
- ・資料にインクカートリッジも集めると記載されているが、郵便局には回収場所があったが、市庁舎にもあるか。また、回収したものはどうするのか。
- ・プラケースのようなものは、粗大ごみで焼却処分になるが、分別収集の対象になっていないのはなぜか。今後、回収することはないか。
- ・回収したプラごみの2割が不適物ということは、どうやって把握したのか。また、不適物はどう処理しているのか。
- ・回収されたプラごみが、資源化されてこんな製品になるという具体例を示してもらえると、理解しやすい。また、企業とコラボして製品化したものを市民に提供してもらうことも、一つの「見える化」ではないか。
- ・プラ分別の回収見込みは、4,458トンとあるが、今年度4月からの年間見込みなのか。
- ・市庁舎や、公共の施設から自動販売機を撤廃してほしい。マイボトル、マイカップ運動などを、市庁舎を上げて、取り組み、市民に見えるようにしてほしい。こうしたことをやり尽くした後に、最終処分場も限度があるので、有料化と開始するというならば、有料化もあるのかなと思う。
- ・市の開催する会議では、ペットボトルは置いていないか。市には、色々な方がみえるが、例えば、ウォーターポットのステーションを設置すれば、啓発にもなる。市が率先して、日頃からの啓発に取り組んでもらいたい。
- ・食器容器トレイのリサイクルに取り組んでいる事業所等と協力して、資源のリサイクルをしてほしい。
- ・普通ごみにプラを入れて排出していた時とプラを分別して排出している今とでは、ごみの量は、増えたのか減ったのか。
- ・現在、家庭のプラごみは分別しているが、コンビニ等では、プラ容器を洗う場所も無く、設置してあるごみ箱に捨てており、それでは焼却ごみが減らないと思う。業者に対する指導は、どのようになっているのか。

6 作戦5 (事業系ごみを減らす)

- ・主に、食品ロスや飲食店の取り組みが示されているが、事業系の紙類やプラの分別が、何も示されていないが、どうなっているのか。小規模の事業者の実態はどうか。
- ・事業系ごみの削減量の約1,347tは、少ないのでは。事業系のごみはもっと多い。
- ・家庭系ごみと事業系ごみの排出割合は、どの程度か。
- ・事業系のごみは、無料か。
- ・法人は、ごみの排出量が多いので、負担を増やすべき。私の地区では、45社ある法人・事業所のうち、35社に自治会に加入してもらい、ごみ集積所に係る費用を同様に負担させている。
- ・事業系ごみを減らすことによって、作戦1~4までも減ることにならないか。
- ・事業で作る包装容器などの簡素化を進めば、作戦1~4のごみも減ると思う。

- ・事業所のごみのルールを構築してほしい。
- ・家庭ごみと事業ごみの内訳はどうか。事業系も有料化するのか。事業系ごみを減らすというのは、事業者が良心的にやっているという前提に立っていれば良いが、現実はそのようではない。
- ・事業系の生ごみはどのように対策しているのか。家庭ごみと事業系ごみの比はどのくらいか。ダンボールコンポストや電気式生ごみ処理機の補助を事業者にも行ったらどうか。
- ・事業系ごみとは、食品関係の人が出す生ごみのことを指すのか。
- ・それなりの規模の事業所であれば、ビルで収集業者を頼み、集積場所を設けて収集されるので、民間への影響はさほどないが、小さな事業所では、地域の集積場所にごみが出されていることがある。私の地域では町内に40の法人があるが、うち33事業所には自治会に加入してもらい、年会費を頂いている。その代わりに自治会の行事には参加しなくてもいいことにしている。他地域では、法人が、ほとんど自治会には加入していないと聞いているが、法人が、ごみを地域内の回収ステーションに出すことは普通にあり、地域住民からすると、自治会に加入していない、それらのごみを、地域の負担で、なぜ管理しなければならないのかということになる。
有料化を行う前に、まず、会費や労力を皆が平等に負担するようにしないとイケないと思う。市民も法人も含めて、まず平等にした上で、平等に有料化すべきである。
- ・事業所から排出される生ごみは、ほとんどが別の事業者と契約して回収に来てもらっている。資料には、事業系生ごみの減量を推進しますとの記載があるが、今後、それを市で集めるということか。
- ・事業者は、既に、色々ごみ減量に工夫をしていると思っていたが、具体的に話を聞いたら、まだまだ分別できていないといった事例を聞いた。もっと細かい単位で、目に見える形で、事業者に取り組んで頂けるよう、広報してほしい。
- ・近くのごみステーションに、事業系の繊維類裁断くずが、袋を縛っていない状態で排出されている。市は、そのまま回収はするが、細かい清掃はしてくれない。事業系のごみも家庭ごみのステーションに出して良いのか。

7 作戦6（ごみ処理有料化制度の導入を検討する）

- ・有料化の時期は、決まっているのか。指定袋制とするのか。不法投棄への対策は。
- ・プラ容器の分別が始まり、普通ごみは減っていると実感している。そこで、有料化すれば、さらに普通ごみは減ると考えている。住民の意識改革のためにも、有料化は進めるべきだと思う。
- ・一般ごみは、有料化への検討を早急にした方が良い。但し、プラごみは、無料を続けるべき。
- ・「各作戦によるごみ削減見込み量」を見ると、作戦6の有料化の割合が多い。
令和7年度までに、有料化を実施しようと考えているのか。
- ・結局、令和7年までに有料化するということか。
- ・この表は、有料化しないと目標の達成は無理だということを示しているのではないか。
- ・有料化することによって、不法投棄が増えるのでは。
- ・プラスチック製容器包装の分別収集が始まってから、一般ごみがものすごく減った。県内で有料化していないのは岐阜市と岐南町の2市町だけとなったが、むしろそれを誇りにして無料化を続けていただきたい。

- ・作戦6は、「導入を検討する」ではなく「導入する」ではないのか。表現がおかしい。制度を導入するから、9,225 tの減量を見込むのであって、検討するだけで、9,225 tも減る訳がない。文章としておかしい。
- ・ごみ処理有料化制度の導入について、聞きたいことがあったが、答えが出るような感じではないので、質問をやめました。
- ・ごみ処理有料化ありきの目標には、問題があるのでは。有料化以外で目標数値を立てるべきではないか。
- ・ごみの有料化は、必要かと思いますが、無料のままだとありがたい。
- ・有料化に伴う、デメリット（不法投棄等）として、既に導入されている自治体の現状について、もっと詳しく聞きたいと思いました。
- ・他市町村と近く周りが有料であると持ち込まれることが考えられるので、対策が必要である。
- ・ごみ有料化の方法は、どのような仕組みを検討しているのか。
- ・有料化によって、市民が納めるお金は、何に使われるのか。
- ・市境では、有料化されている隣町からごみステーションにごみが捨てられる事例が頻発し、その対応に苦勞している。他市町に強く申し入れてほしい。
- ・過去に、ボランティア清掃活動をしていた時に、ごみの有料化が導入された際、不法投棄が増えた記憶がある。
- ・有料化の導入は、手順を踏んでやらないと、反発がかなり大きいと思う。
- ・一般ごみが有料化されるのではないかと危惧している。岐阜市の将来的な考えを聞きたい。
- ・他市では、12%もごみが減ったとのことだが、その理由は何か。
- ・ごみの有料化とは、どのような方法で行われているのか。
- ・有料化によって、不法投棄が増えるのではないか。
- ・具体的に他の市町村では、どのような方法がとられているのか。
粗大ごみのような有料の袋を購入することが、普通ごみでも行われるか。
- ・有料化の検討は良いが、長良川などに不法投棄が増えることが懸念される。
- ・県内で、有料化していない市町村はどこか。
- ・有料化は、ごみ減量において、有効な手段だと思う。
- ・有料化は、ごみ減量の方策として、有益だと考える。
- ・ごみ処理の有料化は、市が、市民にごみの減量と資源化の意義をしっかりと伝えながら、慎重に検討して欲しい。
- ・中核市における、本市の位置付けをどのように考えているのか。中核市の中でも上位を目指すのであれば、ごみ処理以外の他の施策でも総合力を高めるべきではないのか。
有料化以外の努力もしてほしい。
- ・指針に明記されているということは、有料化を目指しているのか。
- ・ごみ減量の取り組みを徹底してやろうと考えるのであれば、我々よりも真剣に取り組んでもらいたい人たち、例えば、一人暮らしの高齢者やアパート暮らしの人たちに周知を徹底するべきではないのか。また、アパートを管理する会社にも住民に分別を徹底させるなどの対策を取ってほしい。
- ・ごみ処理有料化は、決定事項か。有料化しないと令和7年度の目標には達しないのではないのか。

- ・ごみ有料化がごみ削減や費用調達に一番早いのではないのでしょうか。
- ・他都市では、有料化することによって、どんなごみが一番減ったのか。
- ・普通ごみの有料化は、どれ位の金額を徴収するつもりなのか。
- ・有料化ありきで考えているのか。プラスチック製容器包装の回収で、焼却量は減っているのではないのか。
- ・有料化が導入された場合、全てのごみが対象となるのか。
- ・ごみの処理の有料化について、もっと市民の意見を聞き、導入ありきでは困る。
- ・千葉市が、有料レジ袋に指定ごみ袋を利用して販売していることをTVで知った。岐阜市も有料化したときは、市民が指定ごみ袋を使いやすくなる取り組みをして欲しい。
- ・中核市での有料化が進んでいないようだが、どのような理由で進んでいないのか。
- ・令和7年度までの削減目標について、有料化をしないと達成できないのだが、令和7年度までに、ごみを有料化して削減するつもりなのか。
- ・有料化制度の導入に向けて、市としてプロジェクトチームを立ち上げて検討しているのか。
- ・令和7年度のごみ焼却量10万t以下の目標に対し、作戦6の削減量が5割なのに情報が無い。
- ・今後、有料化制度について、詳しく知りたい。
- ・ごみの有料化となった場合は、どのような方法になるのか。
- ・有料化を進めてほしい。
- ・令和7年度までにごみ有料化を導入することは、既に決まっているのか。
- ・岐阜県内の市町村のうち、ごみ有料化を導入していない市町村はどこか。
- ・ごみ有料化を導入し、その分、市県民税を減税するのはどうか。
- ・有料化すると、自治会未加入のアパート居住者による、不法な排出がより増えると思う。
- ・ごみ有料化をしても良いと思う。
- ・有料化になることは間違いないと思うが、その場合、有料のごみ袋ではなく、シールを貼る形にしてもらいたい。色々なメーカーの袋があるので、袋は選択できるようにしてほしい。
- ・普通ごみでも、袋が色付きで中が見えず、中に粗大ごみを入れているケースもある。例えば、各務原市は有料の指定の袋があるが、岐阜市で有料化する場合には、中が見える指定の袋以外は回収しない、とした方がいいのではないのか。
- ・岐阜市に引っ越して来る前まで、ごみは有料だった。岐阜市は、抑止力がなく、自由に出せてしまう。本気でごみを減らすなら、有料化は、避けて通れないと思うが、指定の袋にするより、シールの方が柔軟に対応できていい。
- ・有料化には、賛成。袋は、今と同様、中が見えるような透明にしてほしい。
- ・ごみ減量の抑止力として、有料化は賛成です。
- ・岐阜市のごみ処理には、どれくらいの費用がかかっているのか。
- ・令和7年度に焼却量を109,000tにすることを目標とし、最も削減が見込めるのが、「ごみ処理有料化」とあるが、有料化を進めていくのか。
- ・有料化のやり方としては、袋の有料化か。他都市の状況はどうか。
- ・ごみ有料化について、導入している市町村でごみの減量に効果があるとのことだが、どういうメカニズムか。どういう意識が働いているのか。一生懸命分別しようとするのか。
- ・有料化によって、ごみを出す袋の数を少しでも減らそうとする気持ちが働くのか。

- または、雑がみの分別等による分別意識の向上によるものなのか、分析しているのか。
- 自治会に入っている人は無料、それ以外は、有料化にしないと、対等ではない。
 - 有料化は、一番手っ取り早い方法かと思うが、経済が停滞して物価が上昇している今、大々的に有料化をアピールしない方がいいと思う。
 - プラスチック製容器包装も有料化の対象になるのか。
 - 県内の他市町は、有料化しているのに、なぜ、岐阜市は、有料化できていないのか。
 - 有料化については、賛成。そこで得たお金は、自治会に還元して欲しい。ごみ出しのルールを守らずにごみを出す人や他市町からの持ち込みなど、ステーション管理には、お金がかかる。自治会に還元したり、自治会員でない人との差をもうけてほしい。
 - 有料化するのはいいが、袋の金額はいくらにするつもりなのか。1袋100円なのか、10円なのか、それとも5円なのか。
 - 有料化は、早期実現すべき案件と思います。
 - 有料袋を自治会へは配布するなどアイデアを出して、加入者に徹底してほしい。
 - ごみの分類を更に進めるためには、有料化か末端の各家庭への説明がもっと必要かと考えます。
 - ごみ処理は、新聞によると、市民税に含まれているとあった。ごみ処理有料化で、さらに市民税が増えるということか。
 - 県内で有料化していないのは、2市とのことだが、岐阜市の他は、どこか。
 - 令和7年度の予測も有料化を含んだ数字か。何年頃から有料化を考えているか。有料化は、何ごみを考えているか。
 - 有料化を実施した場合、家庭で、ごみを燃やし始めるのではないか。
 - 有料化の意味が分かりました。ありがとうございました。
 - 他の市町から持ち込まれるごみが多いので、有料化する前に、指定ごみ袋を採用して他市町村からの持ち込みをなくすようにしてはどうか。
 - 有料化に伴い、ポイ捨てが増えるのが心配。不法投棄が罰則の対象となるような条例を、一緒に制定してほしい。
 - 自治会員には、有料のごみ袋を支給すれば、自治会員が増えるのでは。
 - 早く有料化してほしい。
 - ごみの有料化は、いずれ止むを得なくなってくると思う。剪定枝、草刈り後の草の処理もよろしくお願いします。
 - 不法投棄を取り締まってほしいとの意見がありました。有料化した場合の取組みを考えてほしい。
 - ごみの有料化は、問題だと思う。
 - 岐阜市は、ごみ処理の有料化を行うのか。岐阜市は、ごみ袋が有料化になっていないが、有料化の周辺他市町の住民がごみを捨てにきているように見受けられるため、ごみ袋の無料の弊害もある。
 - 有料化した場合、ごみステーションは、市で管理することになるのか。
 - 有料化に向けたタイムスケジュールを教えて欲しい。
 - 有料化の効果が一番大きいことがわかった。実施すべきかと思う。
 - 有料化について、負担方法にもよるが、負担しない人や不法投棄が増える懸念があり、その回収費用も増える恐れがある。また、ごみを溜めるごみ屋敷などの問題にもつながる恐れがあり、その対

策費用との兼ね合いも必要と感じる。

- ・一般ごみを有料化すると、分別回収ごみ（無料）に、一般ごみを混ぜる可能性があると思います。処理の手間が増加するのではないのでしょうか。有料化については反対です。
- ・有料化とは、どういうことなのか教えて欲しい。
- ・県内市町村 42 のうち、2 市町村だけ有料化してないとあるが、岐阜市ともう一つはどこか。名前を出せるなら教えて欲しい。
- ・話を聞いた限り、岐阜市は、遅れているのではないかと、早く有料化した方がいい。
- ・有料化を早く進めるべきだ。まず、行政のごみを率先して減らすべきだ。市が市民の模範になってもらいたい。例えば、広報ぎふは、月 1 回でいい。月 2 回もいらぬ。むしろ紙媒体をなくして、ホームページやスマホで見るだけで済ませればいいのか。
- ・例として、山根市の名前を出す、現実問題として、実家が岐阜市外にある人が、ごみを無料の岐阜市に出している。有料化して指定袋を作ればこの問題は解決できるんじゃないかと思う。
- ・ごみ処理が有料化されると、刈草や剪定枝のごみがすごい量になるため、有料化されると、お金がすごくかかる。今でも、刈草や剪定枝のごみ処理に苦労している。対策を考えて欲しい。
- ・有料化の方法は、ごみ袋の有料化か。
- ・削減量の算出の根拠は、削減目標の達成には有料化が必要であるという資料なのか。
- ・有料化は、他の自治体も参考に進めてほしい。
- ・ごみの有料化は止むを得ない。ごみの分別はモラルの問題であるので PR が必要である。
- ・岐阜市の他にごみ処理有料化制度を導入していない市町村は、どこか。
- ・有料化した際に指定袋で出す出さないの問題があると思う。有料化には、賛成だが、先々の問題を見据えて対策を検討してほしい。
- ・個人的に有料化は嫌だなと思う。他に手を尽くした上での有料化ならば仕方がない。有料化によって、ごみが減るといのがわからない。詰め込んでごみを出す回数が減ることはあるだろうが、ごみが減るのか疑問だ。
- ・市民税を払っているのだから、ごみの処理は、市で予算を組んで行えばいいのではないかと。もしくは、税金をあげれば良いのでは。
- ・有料化によって、地域外へのごみの持ち出しを促進しているのではないかと。
- ・他の市町村と比べ、岐阜市は優しい。有料化をしていないのは、岐阜市くらいだ。ただ、有料化では、あまりごみは減らないのではないかと。
- ・指定のごみ袋を厚手のものにすれば、カラスや猫が荒らすのを防ぐことができるので賛成だ。
- ・イエローカードのように、違反のごみ袋を地域の人たちで対応しなければいけないと思う。移行期間を上手にできるよう工夫してほしい。
- ・有料化によって、どのくらいの収入を見込んでいるのか。
- ・全国の家系系ごみ有料化の実施状況を見ると、中核市が思ったより少ない。
- ・有料化した場合の効果は、どうなのか。
- ・人口は、5%は自然に減少していくので、有料化したときの削減は、1割ではなく、その半分ではないか。
- ・中核市 62 市中 19 市で実施しているから導入するという安易な考え方は問題外である。小さな自治体は、ごみの焼却費が財政負担になっている。岐阜市は、負担になっていないのでは

ないか。

- ・「岐阜市環境審議会」の委員は、所得の高い人ばかりである。公募委員は3名だけであり、公募委員の意見は、反映されにくい。
- ・「ごみ処理有料化制度の導入」の話は、10年前から変わっていないのでは。
- ・一家庭あたりの負担の試算は、できているのか。
- ・導入している他都市の状況は、どうか。
- ・有料化を実施する目的は、財政的に苦しいから導入するのか、それともごみを減らすために導入するのか。財政的に苦しいという理由で行うべきではない。
- ・有料化がプラスになる作戦であることはわかるが、導入しても自治会のごみステーションの管理の負担は変わらない。自治会にプラスになることを考えてほしい。
例えば、ごみステーションの管理を、市が自治会に委託して費用負担するなどである。
- ・一家庭あたりの負担の試算をしないといけない。負担が増えるばかりではいけない。
- ・導入する際、自治会員や非自治会員への周知は、どのように行うのか。非自治会員への周知が大事である。
- ・有料化の具体的なことがわからない。例を出していただかないと議論ができない。不法投棄も多くなっているので、そういう問題も含めて考えてほしい。
- ・有料化の導入をどうするのか、わからないのでは目標達成はできないのではないか。
- ・ごみ収集場所に他市町村と思われる者がごみを排出している。岐阜市が無料なので持ち込まれていると思う。そのようなごみは、市内でどの程度あるのか。また、どう対応したら良いか。
- ・有料化している他市町の指定袋は、いくら程度の上乗せがあるのか。
- ・「有料化制度を検討する」のではなく、導入による効果で約9,000 tの減という理解で良いか。いつ頃から、有料化制度を掲げているのか。
- ・有料化が議会で反対された理由は。
- ・市民の理解が得られたと判断する数値目標はあるのか。
- ・このような意見交換会を行って、有料化について市民からどの程度反対があるかとか、有料化導入の目途は、立てていないのか。
- ・白川町などは1枚150円など、田舎へ行くほど有料化しており、岐阜市は、無料で頑張っている。有料化について意見を聞いても無料が良いに決まっているので、何とか維持してもらいたい。今まで無料で収集を行っていたのに、無料でやれなくなるポイント、例えば、新たに処理場を作るためなどといった理由を聞きたい。今、無料でできているのであれば、作戦1から5をみんなで頑張っていけば良いと思う。
- ・できれば有料化したくないのが市民の思い。有料化にならないように作戦1から5を頑張る旨のメッセージを出してもらった方が良いのでは。県内で、最後まで岐阜市が無料として残れば、評価もされると思う。
- ・無料回収を維持してもらいたい。
- ・ごみ袋（普通ごみ）有料化が必要だと思います。
- ・指定袋の袋代だけの有料化は、効果があると思います。
- ・ごみ袋の有料化より、市民、法人対象に税金（個別）を課したらどうか。
- ・他都市は、どのような方法でごみを有料化しているのか。

- ・家庭系ごみの有料化の実施状況をみると、岐阜県内で2つの地域が有料化を実施していないようだが、岐阜市以外の1市町村は、どこか。
- ・ごみを有料化することで、ごみの減量は、できるだろうが、その代わりに不法投棄や民間での処理が増えると予測されるが、このことを踏まえて、どう考えているか。
- ・作戦6に有料化の検討を入れること自体、おかしいのではないか。9,225 tのごみが急に減るわけがない。有料化を実現しない限り、この目標は、達成できなくなってしまう。作戦は5までとすべきで、有料化は、別次元で考えるべきではないか。
- ・有料化しないと達成出来ない目標となっており、有料化前提に見えるが、そうなのか。
- ・平成12年度以降に有料化した155市のうち、実施翌年度に99%で家庭系ごみが減量しており、実施5年後には、97%が減量を継続できていると記載があるが、数%は実施前に戻っている。我々も有料化した失敗したのでは納得がいかない。しっかり数%の部分調査分析していただきたい。
- ・料金徴収を前提としない減量政策をするべきではないか。
- ・有料化制度には反対。無料の状況でごみ減量を大いに取り組んでいきたい。
- ・ごみ処理有料化制度は、受け入れがたく反対したい。
- ・プラごみも、資源ごみ（新聞・段ボール）のように業者より収入があるのか。有料化とは、有料ごみ袋のことか。
- ・有料化は、いくら位になるのか。
- ・不法投棄に、つながらないか。
- ・有料化した自治体は、どの位、ごみが減ったのか。ごみ処理費用は、いくら位か。
- ・ごみ有料化は、減量施策のやるべきことをやってから取り組んでいくのが大事だと思う。啓発活動をどんどん進めてほしい。プラスチック製品の再生も考えてほしい。
- ・有料化は、人件費削減をしつつ導入することが前提である。
- ・有料化は、できるだけやめてもらいたい。有料化ありきのように思える。
- ・県内で、有料化をしていないところは、どこか。
- ・有料化は、いくら位になるか。
- ・有料化は、いつ頃からやりたいと考えているのか。昔から指針にあったのか。
- ・有料化の対象となるごみは、どのようなものがあるのか。
- ・出来る限り、有料化は先に延ばして頂きたい。せっかく分別に力を入れたのに。プラごみを減らすのに、詰替えを使った時にポイントがもらえるとか、容器本体を買った方が安いとそちらを買いたくなってしまう。
- ・岐阜市のごみ処理有料化制度は、どのような料金体系になるのか。また、他都市ではどのような料金体系が多いのか。
- ・以前より県道沿いの地区では、コンビニ弁当等のごみが道路へ捨てられており困っているが、有料化によってごみの不法投棄が悪化しないか、心配だ。
- ・庭木の剪定枝や稲わら等の焼却が厳しくなっており、普通ごみとして出しているが、量が多いため有料化の対象となると困る。有料化の対象となるごみの種類等はどのように考えているのか。
- ・有料化について、岐阜市は、どのように考えているのか。実施する方向で考えているのか。
- ・県内で有料化した自治体の動機と、岐阜市の有料化への意向はどのようなものであるか。

- 有料化のメリットは何か。有料化を実施している自治体の金額はどの程度なのか。
- 有料化することを作戦というのはおかしいのではないか。また、物価高騰などの問題がある中で、有料化を議論することを、どう考えるのか。
 - 有料化について、これまで全く審議していないのか。
 - 有料化に賛成ではない。大垣市では、住民票がある人には、市から無償でゴミ袋が提供され、住民票がない人は、個別で購入していた。岐阜市でも、自治会加入者には、ゴミ袋を無償で提供し、自治会非加入者には購入してもらうなどの対応を検討してほしい。
 - ゴミ有料化は、全地区反対多数だと思います。有料化した場合、家庭ゴミが処理出来ずに不法投棄が多くなることがあるのでは。今の時代、何でも有料にしては、税金は高いし、困ることばかりです。
 - 有料化に賛成です。但し、自治会員には無料で袋の配布して下さい。
 - 有料化にすれば、税金は減りますか。非自治会員も税金払ってるから、捨てる権利はあります。
 - 有料化は反対します。市内の事業所で働いているが、収集業者によって、ゴミの回収内容が異なる(ペットボトルのキャップが普通ゴミといわれた)ので、統一した方が良い。
 - 自治会未加入世帯の有料化を、是非実施して欲しい。
 - 県内42市町村のうち、40市町村が有料化しているとのことで、ゴミ処理袋を有料にするという方法が多いと思うが、岐阜市もいずれは、止むを得ないのかと思う。しかし、市税には、ゴミ処理の経費も本来含まれているのではないかという気もする。
 - 有料化するにあたっては、市民の理解が必要だと思うので、その辺を慎重に進めてもらいたい。
 - 県内42市町村中40市町村が有料化した中、なぜ、岐阜市では有料化できないのか。
 - 周辺市町の住民の中には、有料化していない岐阜市内に、通勤途中にゴミを出していく者がいる。市民のゴミ減量に対する意識付けなどの点からも、有料化を考えるべきと思う。
 - 自治会加入率を向上させる観点から、有料化した上で、有料の処理袋を自治会連合会に一定数配布し、自治会連合会が、自治会加入者に配布するなどの差別化を考えてはどうかと思う。
 - 有料化するとなれば、ゴミ袋の有料化かと思うが、袋の値段はどれ位を想定しているのか。出す量が少なくても同じ料金の袋を使わなければいけないのはどうかと思うが、考えはあるか。
 - 家庭系ゴミ有料化の実施状況について、県内で有料化していないのはどの市町村か。
 - 「作戦の主な事業」に記載された具体的な検討とはどのようなことか。また、プラゴミも有料化を考えているのか。
 - 有料化するゴミは、何か。プラゴミで汚れたものは、有料ということか。
 - 高齢者など、ゴミの量が少ない世帯と多人数世帯が同額を負担するのはおかしいと思う。例えば、処理袋のサイズによる料金設定などは、考えているか。
 - 愛知県の豊田市や三好市では、有料のゴミ処理袋が、大きさや種別ごとに7種類あり、値段が異なり、県内の全市町で徹底されている。異なる袋でゴミが出されていると、地域で誰が出したか分かってしまうくらい徹底しており、それからすれば、岐阜市は100年遅れている。
 - 有料化は、資源化できるゴミは、無料としている自治体があるということは、初めて聞いた。資料にも、例えば、普通ゴミは、有料、プラスチック製容器包装は、無料といった記載がない。こういった情報も市民に提供してほしい。
 - 他都市で有料化しても、ゴミ量があまり減らないのは、違反した場合の罰則がないからだと思う。長野市や松本市で、ゴミ処理袋を出す人が記名するようになっており、違反があると、個別に

市から指導している。それくらい徹底している。

- ・有料化することのよし悪しは、いろいろあろうが、有料化を天秤にかけていいところがあればやればいいし、悪いところが起きればやめればいい。その決定は、市の審議会などに任せれば良い。
- ・有料化した自治体は、全国の自治体では2/3ということだが、中核市は30%。これは、自治体の財政状況が大きく影響していると思われる。岐阜市の財政状況は、逼迫していないと聞いている。自治会加入率が、50%程度になっている中で、残り半数の自治会未加入者の負担を、自治会加入者が負担するというのが問題であり、加入者と未加入者の負担を、いかに平等にするか、そして、行政が、いかに訴えかけていくかということ、まずやっていただきたい。有料化にしても、意識がなければ、ごみ量は、減らないと思う。
- ・私の地域では、自治連で独自にごみ袋を作り、会員世帯に配布した。その結果、きちんとごみが出されるようになった。
- ・いずれにしても、ごみ問題は、市民も法人も平等に負担してもらうことを考えて頂くよう、お願いしたい。
- ・有料化制度の意味がはっきりしない。何が目的なのか最終的に何が達成されるのか。私たちが納めた税金を使った市の計画の中で、有料化すると税金の減や、人件費の減などは、考えられるのか。
- ・自治会員以外のごみ処理有料化の対応は大丈夫か。
- ・有料化についての説明が不足している。
- ・中核市は、有料化制度導入割合が低い原因は、何か。
- ・岐阜市は、予算規模が大きいなど、財政に余裕があるため、有料化を実施していないという印象を受けたが、そうとは一概には言えないのか。
- ・有料化を検討するというのは、導入するとは違うのか。
- ・10万トン達成しなければ、即有料化ということではないか。
- ・有料化はどのような方法で行うにしても、最近の物価上昇など、有料化は生活に大きな影響がある。また、おむつの排出は、子育て世帯や介護世帯など、社会的弱者にごみが多くなりがちである。私は、有料化をしてほしくない気持ちが強い。
- ・他の市町村では、有料が当然になっている。多治見市では、20年以上前から有料で、透明なごみ袋が大きく分けて3種類あった。このため、市民のごみ減量や分別に対する意識が高く、決まった集積場所にきちんと出されていた。
- ・県内で有料化していない2自治体は、どこか。
- ・資料中の削減量を計算した表の中に、ごみ処理を有料化すると9,225トン減るという計算がある。これも削減量の目標値に含まれてしまっているため、令和7年度までに有料化すると聞こえてしまう。一方で、有料化しないと計算どおりにいかないと思うが、考えはいかがか。
- ・有料化は、個人的には理解するが、市民には、理解頂けるかなと思う。
- ・有料化には、反対である。近隣の有料化されている地域から持ち込まれると聞かすが、私は実感したことがない。また、ごみは減ると思うが、ごみ総量に対して、どれだけ減るのがわからない。不法投棄が増える心配もある。やるべきことがまだあるのではないかと思う。スーパーでものを買ってくるとごみを買っているような過剰包装である。ものを作る側に工夫をしてもらえないか、

働きかけを十分にしたい。ごみ処理は、住民サービス、行政サービスの最たるもの。私たちは税金を払っており、これを無くしたら何をするのかというような、最低のものだと思うので、堅持して頂きたいと思っている。今コロナ禍で値上げばかりで、これでごみ袋まで値上げするとなると、がっかりである。

- ・有料化の実施は、なぜ中核市の実施率が低いのか。
- ・有料化については、過去のこのような場で、他の作戦でごみが減らなかった場合には検討するとの説明を聞いた気がするが、今日の資料を見ると、有料化が前提としてあって、有料化しないと目標が達成できないということになるのか。
- ・ごみ減量の抑止力として、有料化は賛成です。
- ・有料化には反対です。年金生活者にはわずかでも、少しでも支出をおさえない。
- ・資源ごみの回収について、集積場は道路上が多く、通勤途中の遠方の人がごみを置いていくことがある。一度確認したことがあるが、地域以外の人だった。有料化が導入され、袋にシール等を貼るなどのルールがあっても遠方からの人はルールを守らずに出していくのではないかと心配がある。また、カラスの被害、不適物にイエローカード等を貼っても持ち帰らないという問題もあるため、制度の導入にあわせ、市による戸別収集の実施を検討してほしい。
- ・有料化について、意見交換会でどんな意見が出たか教えてほしい。
- ・愛知県は、ごみ袋を有料で購入している。市も財政不足であるし、ごみを無料で出すということは、時代に合わなくなってきていると思う。世間（他市）の状況も調査していくべきだ。
- ・有料化の一部の自治体では、10種類くらいのごみ袋があるようだ。私は、8人家族で負担が大きい。各自で排出したごみに対して、支出をするという考えは、ある程度理解できる。しかし、有料化の前に、やるべきことがあるのではないかと。ごみネットやごみが散乱した場合の清掃等、非自治会員の市民のごみも含め、すべてのことを自治会に押し付けている。有料化をし、さらに協力を求めるなら自治会員と非自治会員の差別化を図ってほしい。そして、有料化にするのであれば、例えばだが、協力者である自治会へ管理料の支払い等、必要ではないか。
- ・有料化の市町村からごみが持ち込まれることがあるため、有料化は、ある程度効果があると思うので、有料化には反対しない。ただ、自治会加入者と加入者でない市民との差別化を図るべき。例えば、自治会員の証明を提出すれば、ごみ袋は1/3や半額で購入出来るようにするなどの方法を提案する。
- ・以前、説明会で、普通ごみの有料化の検討をしているという話を聞いたが、今、話を聞いていると、全てのごみの有料化が検討されているということか。
- ・ごみ有料化による負担を、なんとも思わない、基本的には、お金持ちばかりが審議して、庶民が含まれていない。一番お金がかからない一番効率の良い方法を採用すべき。岐阜市独自のものを期待する、他市のコピーだけでは駄目。
- ・有料化を検討するのは、全てのごみか。
- ・資料では、有料化を導入した場合に9,225トンの削減とあるが、有料化を導入しなければ、令和年度までに、10万トンを達成できないのではないかと。
- ・令和7年度までに、作戦1から作戦5の取り組みでごみ焼却量10万t以下を達成しないと、作戦6を実施するのか。

- ・現時点では10万トンの目標を達成する見込みはないということか。
- ・意見として申し上げるが、誰も有料化にはして欲しくない。10万トンの目標の妥当性を、市民に納得できるように説明していただきたい。
- ・有料化を導入した場合、不法投棄が増えると思う。それは、出るごみが減るのではなく、不法投棄としてごみが出されるだけなのではないか。
- ・有料化については、よく検討してほしい。
- ・有料化の導入について、市議会で請願が出されたとのことだが、内容を教えて欲しい。
- ・市議会の請願では、ごみ有料化について、市民の理解が得られるまでは実施しないということだが、市民の何%ぐらいの理解が得られるまでと示されたのか。
- ・ごみ有料化は、1年前に告知して下さい。
- ・ごみ有料化を進めてほしい。
- ・県内2つの市町が有料化されていない状況で、今後検討するとあるが、現在、具体的にどういう状況にあるのか。
- ・私の地域は、他市町との境にあるため、有料地区からごみを持ち込まれる。有料化になっても、他地域からの持ち込みが無いようにしてほしい。ごみ集積場の設置に係る援助も含めて考えてほしい。
- ・有料化になると、今まで以上に不法投棄が増える。
- ・ごみ有料化をしたら不法投棄が増えるのはないか。すでに、ごみ有料化を実施している他の自治体の状況はどうか。
- ・ごみの有料化は、費用対効果の点で非常に効果的なので、是非進めていただきたいです。

8 各作戦によるごみの減量見込み・指針の推進

- ・新しいリサイクルセンターが完成し、その中で、職員が大変な手間をかけて分別し、リサイクルを進めている。こうした事実を知らない人が大勢いる。こういうことをもっとPRしていくと良いと思う。
- ・「各作戦によるごみ削減見込み量」を見て、岐阜市として、ごみ処理有料化に前向きな意思があることを感じた。有料化を実施するとなった場合は、低所得者や生活保護の方へのサポートも行ってほしい。有料化の実施には、反対意見もあると思うが、頑張してほしい。
- ・各作戦によるごみの削減見込みについて、それぞれの削減値に関する具体的なデータが欲しい。特に、有料化をすることに伴う、削減値について理解できなかった。
- ・有料化することで、9,225tも減量することに、素朴な疑問を感じる。
- ・家庭から出るごみが減るわけではないから、「削減見込み」という表記の仕方はやめてほしい。「資源化」という書き方なら、理解できる。
- ・これまでも、ごみ減量や資源化に取り組んでいるが、各作戦の削減目標は達成可能な数値なのか。
- ・作戦1~6の分析について、横ばいや減少傾向とあり、自然に減っていくようなものが多く、啓発活動をもっと前面に出してはどうか。岐阜市のごみ処理は、今まで税金でやっていたのに、なぜ有料化の話を出すようになったのか。他都市ではどうやって有料化の話を持っていったのか。
- ・人口は、減少しているが、世帯数は、増えている。人口減少によって、ごみ量の減少とあるが、人口より世帯数の方がごみ量に影響すると思うので、ピーク時から10万tまでのごみ焼却量の

削減の目標は、見直した方が良い。

- 生ごみなどのごみを減らす方法を、わかりやすく市民に教えてほしい。
- 日々の生活の中で、ごみは必ず出る。いろいろと出るごみを減らせということは、今の生活様式を変えろということか。
- 計画には、素晴らしいことが書いてあるが、実際にごみを減らせるのか。私たち市民は、分別するだけで、あくまで受け身で、自らは、実際何もできないのが現状である。社会現象の中で、どう減らすのか、市で、仕組みからしっかりと考えてほしい。
- 各作戦によるごみの削減見込みの表中に、ごみの有料化による減量分が加算されているが、設定目標は、現実的に無理がないものが良いと思うので、これはどうなのかなと思う。
- ごみの減量見込みの表中の数字が、すべてトン表示になっているが、伝わりにくいと思うので、例えば、市民一人あたりに換算すると、何グラムといったことや、個人がこれに取り組むと、何グラム減になるといった、市民に寄せた表現で説明すると伝わりやすいと思う。
- なかなか、全ての市民には届かないが、資源分別などの啓発を行っていくことは大事だと思う。市民マナーの意見があったが、もう少し市民の良心に期待しても良いと思う。
- 削減目標値の10万トンの根拠は、何か。処理施設がないのか、処理能力の問題なのか。有料化を含めて数値を合わせるために設定されているように思えてしまう。何を目的にして目標設定したのかが重要。自分は、有料化しても良いと思う一方、市民税などを収める中で、できるだけ有料化は避けてほしいとも思う。
- 説明を聞いて内容は、理解できたが、多くの取り組みによって、市民がどんな結果やメリットを受けられるのかといったイメージがわからないので、そのあたり示してもらえると良い。また、市民や企業に、こんな協力や努力をしてもらい、その結果として10万トンに行き着くんですよ、そして、市民としてこういうメリットが受けられるんですよということを示してもらおうと理解しやすい。
- 今行っている資源化物以外に研究しているものはあるのか。
- 見込みの中に、有料化分が入っているのはおかしいのではないか。個人的には、現時点で入れるべきでないと思う。
- ごみ焼却量125,559tのうち、何%が資源になるのか。ごみの減量は、焼却ごみの中の何%とかを資源として分別していくというイメージだが。

9 プラスチック製容器包装の分別収集

- 家庭用ラップと包装用ラップは、材質が違うから、普通ごみとして扱われるのか。
- 自治会未加入者への指導は、どう行っていくのか。
- 総菜を購入したときのラップで、紙シールラベルがあるものは、どう扱えば良いのか。
- 自治会未加入者のプラスチック製容器包装の分別状況は、把握しているのか。
- プラスチック製容器包装の分別収集の課題は、何か。
- プラスチック製容器包装の説明ビデオは、雑がみの分別も合わせて、自治会で気軽に借りられるようにすると良い。
- プラスチック製容器包装の分別が難しい。間違っって普通ごみとして捨ててしまうこともあるが、間違えた場合のプラスチック製容器包装の処理はどうなるのか。

- ・プラスチック製品を使うことを減らすのか、使うけど再利用を目指すのか。
- ・ペットボトルのラベルは、どうすれば良いのか。
- ・プラスチック製容器包装か否か、わからないものは分別しないほうが良いのか。
- ・スーパーなどで買ったラベルが付いたものは、普通ごみになるのか。
- ・スーパー等のラップと市販のラップは、異なるのか。
- ・今日の説明会のようなプラスチック製容器包装の資料は、これまでに配布したのか。
- ・臭いがきつようなものも分別して大丈夫か。
- ・プラスチック製容器包装分別を始めてから普通ごみの量が少なくなった。ごみの回収は普通ごみが週2回、プラスチック製容器包装が週1回となっている。回収回数を考えているのか。
- ・今年度からプラスチック製容器包装が分別になったのはとても良いことだと思います。チラシや広報ぎふなどで、不適物の内容をよく見かけますが、不適物を入れてしまうこともあると思います。時々、チラシなどを配っていただいて再確認したいと思います。(また、チラシなどは) 田舎ですので、野菜が採れてよく使います。生ごみは、できるだけ畑に穴を掘って捨てていて、出さないように心掛けています。
- ・プラスチック製容器包装を分けたことで、いかにプラスチック製容器包装が多いかがわかり、プラスチック製品を軽量化するよう改善すべきだと思う。私的な回収業者は廃止すべき。市の収益が減少するから。広報ぎふ(月2回)の紙は、市のHPでの掲載か、回覧で良いと思う。
- ・プラスチックごみが非常に多いが、回収日を週1回から2回に増やすことはできないか。
- ・プラスチック製容器包装が、こんなに多いと分別してみてもわかりました。今後も注意して、色々分別していきたいと思います。
- ・収集量のうち、2割が不適物とのことだが、内容を知りたい。分かりやすいリストが欲しい。リサイクルセンターの現場の負担が軽くなるようにしてもらいたい。
- ・分別する上で、カップ麺などは、素材がわかりにくい。内側がプラスチック、外側が紙というものもある。
- ・疑わしいごみの場合は、割り切って、可燃ごみとしてはどうか。
- ・容器を洗うため、貴重な上水を使用することになる。洗うことによる費用(一軒あたりの水道料金等)のデータを合わせて提示してほしい。比較して考え、納得した上で進めるのが良い。
- ・一般市民は、今回のプラスチック回収が包装に使用されたものに限定されることを理解していないので、そのことを周知して頂きたいと思います。
- ・プラごみを減らす取り組みが甘かったと思いました。これからしっかりやりたい。
- ・油等の汚れは、どの程度落とせば良いか。
- ・プラスチック製容器包装が普通ごみより量が多いため、プラごみ回収を週2回にして普通ごみを1回にしても良い。
- ・プラ容器包装の分別の説明はわかりやすかったが、今後も質問意見があった事を、さらに追加した資料を作り、市民周知することで、さらに分別しやすくなると思う。
- ・プラスチック製容器包装を入れる袋の指定はあるのか。指定袋を使用している地域があると聞いたことがある。
- ・回収されたプラスチック製容器包装ごみは、どのようにリサイクルされてるのか。何にリサイクルされるか分かることによって、市民の分別する意識が変わり、モチベーションも

上がると思う。

- ・プラスチック製容器包装とプラスチック製品の見分け方は、何か。
- ・家庭で使ったラップ類は、普通ごみで、店舗で買った食品に包装しているラップ類は、プラスチック製容器包装のごみとなるのか。
- ・各校区のごみ減量を数値化することで競争が生まれ実施率が向上するのではないか。プラスチック製容器包装を洗うと水道代も掛かるので還元策を考えてはどうか。
- ・各家庭で頑張っており、ある程度成果があったら回覧でお知らせがあると嬉しい。問題の多い出し方を簡単に箇条書きで回覧してほしい。
- ・プラスチック製品のうち、資源ごみに出せないものについて、その理由を明示し、説明をするのが良いと思う。
- ・プラスチック製容器包装の分別が4月より施行されました。実際のごみ減量の量、金額等、昨年同対比で数字を出して欲しい。
- ・PP（ポリプロピレン）もプラスチック製容器包装としてリサイクルされるのか。
- ・「プラごみ」という呼び方が、資源化できるものをごみ扱いしているように捉えられ、その結果として、不純物が混入することになっているのではないか。プラスチックのリサイクルである旨が分かりやすい言葉（造語）はないのか。
- ・プラごみの回収方法を周知徹底してほしい。
- ・プラスチック製容器包装の洗い方等が知りたかったけれど聞けなかった。
- ・プラスチックごみの汚れは、どの程度、綺麗にするのか、同じ製品でプラと紙に分かれているものについて分別すべきなのか。
- ・分別の周知徹底が難しい。チラシなどで周知してもらいたい。
- ・自治会では、自治会を通じて周知しているが、まずは、市がルールを周知をしっかりと行ってもらいたい。
- ・プラスチック製容器包装の分別ができていないものは、イエローカードが貼られる。日にちが経ち、可燃ごみの日になってもそのままでは回収してもらえないので、我々がイエローカードを剥がして、普通ごみとして出し直している。こうした手間がかかっていることを知ってほしい。
- ・プラごみは軽いのが、嵩があるので、週2回収してもらえないか。
- ・分別がわかりにくいので、プラマークのついているものだけを集め、汚れがついているものは普通ごみとして焼却してはどうか。
- ・自治会非加入者や外国人世帯に、分別のルールが徹底されていないと感じる。これらの人に対する周知を強化して欲しい。
- ・住民への回覧文書は基本、自治会員しか、回覧されないのでは、地域で守るべきルールを、非加入者に、どう周知していくかということが、自治会の課題となっている。
- ・小さいチラシでは、広報紙や他の広告物に紛れてしまい、誰も読むことなく捨てられてしまう。大きなポスター等はないのか。地域の要所要所に貼っておけば、嫌でも目に入ると思う。
- ・家庭で使用したラップは、プラスチック製容器包装の収集対象にはならないか。
- ・洗う手間や水道代がかかるという意見が、自治会に寄せられている。また、ペットボトルは、キャップを付けたまま、出したい。

- ・プラ容器の分別収集は、普通ごみの量が減り、良いことと思うが、普通ごみとプラ容器の分けについて、もっと市民に周知すべきだ。ストローが、プラ容器でないことは、この意見交換会で初めて知った。
- ・同じプラスチックでも、容器包装は良くて、プラ製品はダメなのは、何故か。
- ・汚れているものは、普通ごみに出していいのか。
- ・汚れているものは、洗って出してもいいし、そのまま普通ごみで出してもいいと言うのは、生ぬるいと思う。「プラスチックは洗って出してください」と強く言った方がいいと思う。
- ・プラスチックは、リサイクルするとお金になるのか。焼却するよりもコストがかからないのか。
- ・儲かる、儲からないという話ではなく、ごみが少しでも減れば、環境が良くなり、生態系を壊すこともなくなると思うので、地球環境といった大きな観点で考えたらいいと思う。
- ・これまでは、汚れたものも一緒に入れていたが、汚れたものは、普通ごみでいいということがわかった。プラスチックの分別回収が始まってから、普通ごみがかなり減ったが、プラスチック製容器包装自体をもっと少なくしないといけないと思う。
- ・結局のところ、どこまで洗うかという問題で、マヨネーズの容器を切って拭いてからプラスチックとして出す人もいれば、汚れたまま普通ごみとして捨てる人もいる。汚れたままでは受け付けないと、強く言った方がいいのではないか。
- ・プラスチックケースは、粗大ごみとの事だが、市に頼んで回収してもらうのか。
- ・プラスチックケースは、粗大ごみで出せば、リサイクルされるのか。
- ・プラスチック製容器包装と普通ごみの分別化が難しい。
- ・汚れが落ちないものは、普通ごみという周知がされていない。
- ・ペットボトルの捨て方について教えてほしい。
- ・スーパーやコンビニで購入した弁当の容器は、普通ごみで良いか。
- ・発泡スチロールは、どのぐらいの大きさで出せば良いか。
- ・令和4年度から始まったプラスチック製容器包装の分別収集だが、私の感覚だと生ごみの量が半分になったが、4月実績で見るとあまり減っていないように見える。4月以降も数量を把握しているのか。
- ・プラスチック製容器包装は、袋に入れると大きくみえるが、重さにすると少ないということか。
- ・昼食は、コンビニで買い、車内で食べてコンビニ店内で捨てている。もちろん、容器を洗うことはできない。コンビニにプラスチック製容器包装回収の協力を得られれば、さらなるごみ減量ができるのではないか。意識している人は、本当は洗って分別したい。
- ・家庭用ラップは、スーパーのラップと異なる取り扱いの理由がわからない。
- ・プラスチック製容器包装のチラシのよくある質問は写真やイラストでの説明にして、班回覧した方が良い。
- ・プラスチック製容器包装に関しては、分別が分かりにくく、間違えて認識されている方も多いとします。周知をもっと分かり易く、広報して下さると助かります。
- ・カップヌードルの包装紙は良い、発砲スチロールはプラスチックに含むとか、プラスチック製容器包装を具体的な名称で説明して欲しい。プラスチックといっても、何がプラスチックか分からない。
- ・ケチャップやマヨネーズなど綺麗に洗わなくても使い切れれば良いといわれたが、それで大丈夫なのか。

- ・高齢者などは、プラごみの分別が難しいと思うが、どのような対策をするのか。
- ・ラベルシールや値札は、どこまで、はがしたらいいのか。
- ・汚れを落とす際に、水の使用量が増えるのではないかと。軽くすすぐという表現は、本当に軽くやってしまうので、水ですすぐなど、もう少し前向きな表現をした方がよい。
- ・現在、手間暇をかけて、プラ容器包装を分別しているが、市が言うプラ容器包装の分別の程度でどのような再利用ができるのか。この程度の分別によって、何ができるのか見当もつかない。収集後に再生される工程についても報告してほしい。
- ・プラ容器の分別で違反物が出ていて、イエローカードが貼ってあっても、その後のごみ収集の日に無くなったり、2週間もすると知らない間に無くなったりするのはなぜか。回収してしまうから、違反物がなくなるのではないのか。
- ・プラマークのついていないプラスチックごみも回収するのか。
- ・ラーメンのカップのように、プラ容器包装か、燃えるごみか、わかりにくいごみがある。
- ・洗剤の容器について、ボトルは「PET」、蓋は「プラ」と記載があったが、プラで出して良いのか。
- ・プラマークの下に、PP など原料の名前が記入されている場合でも、プラスチック製容器包装と判断して良いのか。
- ・食品トレイには、プラマークがあるのだが、上の透明のカバーには、プラマークがついておらず、エフピコと記載があった。それもプラとして出して良いか。
- ・サランラップは、自分で買ったものと、元々包装に使用されて買ったもので、分別方法は、違うのか。
- ・不適物として、ストローやプラスチック製のスプーンやフォーク、ビニールひもがあるが、プラスチック製容器包装に出してもいいのではないのか。
- ・プラ分別に賛成です。プラスチック製のスプーンやフォークは勘違いしていた。プラ分別の資料は、わかりやすいので自治会の回覧で使用させてもらう。
- ・今日、自治会で岐阜市のリサイクルセンターを見学し、ペットボトルのビニールをはがすのは、面倒であることが実感として分かった。岐阜市は15万トンから10万トンにごみを減らすと言っているが、県内42市町村中で、岐阜市と岐南町しか有料化していないなど岐阜市は遅れている。そのことをもっと啓発していった方が、ごみの減量につながるのではないかと。
- ・プラの分別を岐阜市は始めたばかりだ。プラ分別の状況をみると、1割5分も不適物で、リサイクルできない。1割5分はかなり多いと思うがどうか。
- ・令和4年4月から7月までのデータしかない、8月以降のデータもあったほうが良い。他市町村との比較もあったほうが良い。
- ・プラスチックごみの収集回数は、週に2回にすることはできないか。
- ・プラスチック製容器包装の不適物の実例を、継続的に発信してほしい。
- ・プラマークの横に小さい文字(アルファベット)が書いてあるが、それは無視して、プラマークのついたごみはすべて分別して良いのか。
- ・プラスチック製容器包装以外のプラスチックごみについても、一緒に回収してほしい。
- ・分別回収する前は、プラスチック製容器包装は、どのように処分していたのか。
- ・プラスチック製容器包装の分別回収について、広報等でもっと周知してほしい。
- ・プラスチック製容器包装の分別収集によって、ごみが減っているのは実感しているが、その他の

ごみはどうか。

- ・プラごみの中に違うものが入っていると黄色の警告書が貼られるが、何が違うのかよくわからない。これまで3回あったが、その場で聞いて取り出し、持って行ってもらった。警告書が貼られた袋も、いつまでも放置され誰が出したごみかもわからない。誰のごみか聞いて回るわけにもいかないのが困っている。金曜日がプラごみの回収日、月曜日が普通ごみの回収日なら、普通ごみとして持って行ってくれないのか。特に、集合住宅は放置されたごみが問題になっている。他人が捨てたごみ袋を開けることもはばかれるし、捨てる人にごみ袋の中身を見せろとも言えない。
- ・何が不適物かわからない人が多い。プラマークで判断するようになると言われるが、市の啓発が足りていない。
- ・外国人の方が、プラごみの中に、別のごみも入れて出しているようだ。自治会から市に資料作成を依頼するのではなく、市からあらかじめ5か国語の資料を作成し配布していただきたい。絵でわかるようにしてほしい。
- ・プラスチック製容器包装のチラシのよくある質問を、より充実して配布してほしい。
- ・プラスチック製容器包装の分別収集のよくある質問で、表現をもう少し強い語りにしては、
- ・プラスチック製容器包装の袋に名前を書く。町内外の人が出すから。
- ・地域でフタやラベルの付いたままのペットボトルが、ごみに出され、イエローカードが貼られているのを見かける。「プラスチック製容器包装の分別収集」について、もっと周知をして欲しい。
- ・プラ容器包装の分別収集の周知の方法を、媒体でも、手法についても考え直さないといけない。
- ・プラ容器包装の回収量は増えていると思うが、処分費用は、どうなっているのか。
- ・プラ容器包装を回収した結果をしっかりと周知しないといけない。回収したものがどうなったか分からないと不信感につながる。
- ・ごみの減量と資源化に協力はしているが、プラスチック製容器包装の分別収集の経過報告等も広報などで時々発表してほしい。
- ・このような意見交換会を続けることによって、市民の意識が高まると思います。
- ・プラスチック製容器包装の現状についてもっと具体的な情報を知りたかった。
- ・プラスチック製容器包装の分別収集について周知方法を変えて徹底して頂きたい。
- ・普通ごみの収集を見てると、昨年比べて、だいぶ減っているように見える。また、プラスチックの収集も、結構量があるため、分別が進んでいるように見えるがどうか。
- ・プラごみは、かさばるため、プラごみの回収は、週2回にならないか。
- ・プラスチックのケースや食品保存容器は、粗大ごみ、プラスチックスプーンやストローは、燃えるごみであるが、同じプラスチックなのに、回収できないのはなぜか。
- ・プラスチックのケースなどの再資源できるルートを模索して行ってほしい。
- ・家庭用ラップもプラスチック製容器包装に入れていたのでこの機会に分かって良かった。納豆のからしなど洗うのも大変だったので普通ごみでいいことがわかった。
- ・ごみ置き場に「プラスチックとは何か」や「プラスチック製容器包装の分別方法」についての張り紙を個人的に貼ったが、すべての地域のごみ置き場に、このような張り紙を貼ることで、市民は正しく、プラスチックごみを出せるのではないか。
- ・製品によっては、プラマークが小さくて見にくいことが多々あり、その都度、資料を見て、

これは、プラ容器か、そうでないか確認している時間がない。市からメーカーに表示を大きくしてもらえるように頼むことは可能か。

- プラスチックのストローやフォークを出してダメなのは、なぜか。
- PP・PE などプラスチックの種類が混合したものは、どのように再生しているのか。種類が混ざると再生困難なのではないのか。
- プラスチック製容器包装を洗浄することで、下水道にかける負荷はどのようになっているのでしょうか。
- ラベルをはがすことが難しいものは、普通ごみに入れてしまっていていいのか。それとも、はがした方がよいのか、はっきり言ってもらえた方がよい。
- 公民館で、汚れが落ちないものに対して、洗剤を使って洗っているという話を聞く。洗剤を使えば水が汚れるので、汚れがひどいものは、普通ごみにしても良いのか。
- プラマークのついていないものは、プラスチックではないのか。プラスチックのストローやフォークは、なぜ出してダメなのか。
- 発泡スチロールにプラマークは、あるのか。
- ごみの分別はきちんとやる人とやらない人に差があり、メリットがないとやらなくなる。目標値やどのくらい割合で回収できているかなども教えてもらえると良い。
- 4月～7月までのプラスチック製容器包装の実施率85%は想定内ですか。ごみ処理の有料にならない方法を広報していただきたい。
- 間違ったプラスチック製容器包装の分別をしていたので、今後、家族と話し合いたいと思います。町内の方にも色々教えたいです。
- プラスチック製容器包装の細かいところまで各家庭でわかっていない部分もある。もう一度わかりやすく説明する必要があると思います。
- 4月からプラスチック製容器包装を分別しているが、集めたプラスチック製容器包装は、何に生まれ変わるのか。
- プラスチックを一から作るより、資源化して、再生する方が、コストがかかると聞いた。
- プラスチック製容器包装の分別は、いきいきサロンのように高齢者が集まる小さなサークルごとに実際のプラスチック製容器包装の見本等を使って説明会をして頂くと分かりやすいと思います。
- プラごみの重さは、軽そうに思えるのだが、400 t/月も出ているのか。
- 食品トレイは、洗剤で洗う必要があるのか。
- プラスチック製容器包装と、普通ごみや粗大ごみに出すプラスチック製品は、どう違うのか。
- プラスチック製容器包装分別収集の状況の丁寧な説明ありがとうございました。

- プラスチック製容器包装は、どのようなものにリサイクルされているのか。
- プラスチック製容器包装回収のおかげで、燃えるごみが少なくなりました。経費節約の為、現在週2回の普通ごみの回収ですが、週1回でも良い。
- プラスチック製容器包装回収について、周知徹底すると良いと思います。
- プラスチック製容器包装は資源化するのに、油の容器とか、多少の汚れの物がいいというのが良く分かりませんでした。
- ペットボトルのフタは、プラ製容器包装で出せばいいのか。

- ・自治会連合会の役員ぐらいまでは、理解しているが、住民全体まではなかなか徹底は難しい。子ども、特に低学年からの教育が大事だと思うし、一般住民まで徹底されるような取り組みを考えてもらえたらと思う。
- ・プラ製容器包装の回収量が、当初予想を大きく上回っているということだが、収集回数を増やすことはできないか。
- ・4月から始まったプラごみの分別収集について、回覧板でお知らせなどが回ってこなかった。何が、プラごみなのかわからない人も多くいるので、市から自治会単位などで説明してもらえると良いと思う。
- ・家庭用のラップは、なぜ対象外なのか。
- ・分別回収の実績は、4月以降どうなっているのか。
- ・収集量の当初の想定は、2,000トンだったとのことだが、それを大きく上回る現状の回収量は、施設の処理能力的に大丈夫なのか。
- ・スーパーなどでもらうビニール袋やサランラップ、アルミホイルは、プラスチック製容器包装になるのか。
- ・同じラップでも、これは、プラスチック製容器包装でこれはダメといったことで、環境推進員が住民に聞かれても答えに窮することがある。
- ・プラごみが増えているが、収集日を週1日から増やす考えはないか。
- ・リサイクルセンターで分別した後、再資源化する工場は富山県だと聞いたが、岐阜県には無いのか。
- ・持続可能な開発目標の推進と書いてあるが、ガソリン代を使って、富山県に運ぶのは、疑問を感じる。もっと良い方法がないのか。
- ・自宅近くのごみステーションの収集日毎に、何を集めるのかを表示した案内板にプラごみが記載されていない。
- ・家庭では、プラスチック製容器包装の分別などを一生懸命やっているが、プラスチック製容器は、粗大ごみということで、何を、どうやって出すのかからスタートする気がする。また、プラマークが小さかったりして、じっくり見ないと気付かないことがあるため、分かりやすい大きなマーク表示にできないかという気がする。
- ・プラごみに関する資料の内容を、もう少し分かりやすくしてぜひ全戸配布してほしい。地域には、高齢者や外国人などいろんな人がいるため、広く理解してもらえるよう、ぜひ、取り組みを願いたい。プラスチック製容器包装分別回収スタート時は、地域住民に多少混乱が見られたものの、地域としても啓発に取り組み、今は概ね順調だが、ぜひ早急に分かりやすいものを配布頂けたらと思う。
- ・プラスチック製容器包装で、弁当などに使われている仕切り用のビニール素材はどう扱うのか。また、家庭で使用したラップとスーパーなどで買ったものに使われているラップの違いは、どうなっているのか。
- ・スーパーで提供される小さなビニール袋は、プラマークはないが、普通ごみでだせばいいのか。
- ・分別に迷うものが多いので、ぜひ分かりやすい周知をよろしく願う。
- ・プラマークがないものをどうするのかは、混乱するところなので、ぱっと見て分かるような、分かりやすいお知らせを、ぜひ検討いただきたい。

- ・ラップについては日頃から疑問を持っていた。これまでサランラップはむしろ進んでリサイクルにしていた。中身を水で洗浄する場合、水の使用の方が問題になるのでは。
- ・プラスチック製容器包装として、ビニールひも、ストローなども OK と考えていた。
私だけじゃなく、たぶんこのように考えている人もいると思う。実施半年後の市民への周知を図るためのチラシの配付は必要だと思う。
- ・週1回のプラの回収が増えたことで、経費はどのくらい増加したか。
- ・岐阜市リサイクルセンターで成型したプラスチック製容器包装は、売買しないのか。焼却するコストは、かかっているのか。
- ・プラスチック製容器包装の回収量について、当初の目標に対して、どの程度、実際に回収されているのか。
- ・現在、プラスチック製容器包装は、出来るだけ汚れを落として、分別をするように啓発してきたが、今回の説明資料では、容器が汚れていたら、即普通ごみにするというような書き方に捉えてしまう。
- ・容器包装に付いているシール等が取れないものは、そのまま出していいと聞いて安心した。
出来るだけ取るようにしているが、取りにくいものが多い。
メーカーに剥がしやすいものにするよう、指導してはどうか。
- ・現在は、容器包装に付いているシール自体が、プラのものもある。
- ・4月から始まったプラスチック製容器包装分別について、環境一課に承諾を得たうえで、地域内で回覧した。また、4~9月の収集に係る成果・課題があれば教えてほしい。
- ・プラスチック製容器包装の分別収集では、8割5分以上がしっかり分別できているとの情報は7月時点のもので、10月時点でどうなったのかを知りたい。随時、成果がどうなったかを、継続的に検証していくことが重要である。そのような地区は、環境意識が高いと思うので、市と地域と一緒に取り組んでいかないといけない。
- ・サランラップが、なぜ普通ごみなのか。ビニール袋は、プラ容器包装で良いのでは。ジップロックは、プラ容器包装ではないのか。地元のイベントで商品をジップロックに入れて売って売れば、対象となるのではないのか。市民が理解しやすいよう、柔軟に考えてほしい。
- ・プラスチック製容器包装の分別収集は、余りにも制限が多すぎる。
これでは分別が面倒で協力できない。もう少し簡単にお願いします。

10 その他の意見・質問・感想

- ・意見交換ができて、有意義でした。
- ・自治会員以外の市民への伝え方を考えてほしい。
- ・今後のごみの減量について、積極的にPRしてください。
- ・市HPを見られない人のために、資料の配布も考えてほしい。
- ・小規模集会で絶えず、PRすることが必要と思います。HP等のPRでは、メディアを使用しない者は何も知ることができないため。
- ・自治会未加入者のごみの出しのルールが守られていない。自治会未加入者への分別意識の向上策は、何かあるのか。

- ・岐南町や各務原市など、近隣地域からの持ち込みごみが多い。ごみ処理が有料化されている市町から持ち込まれるごみの対策は。
- ・ごみと資源の違いを明確に説明できると良いと思う。
- ・各自治会でも説明会を開催していただけたら良いのかなと思います。
- ・成功事例等、現状問題点等、もっと明確に情報発信してほしい。
- ・書面だけでは理解できない事項があるので、今回のように直接市の担当者の方とお話できて良かったです。分別に対しての考え方を少し変わりました。
- ・分別されていない状態のごみをよく見かけます。よく理解していない方達も多くいるので、各家庭に向けて再度プリント配布などしていただけるといい。
- ・一般市民に説明の機会を増やすと良い。
- ・ごみ処理に要する費用は、いくらか。
- ・プラごみが減り、水分を含んだごみを焼却するため、燃料を使っていないか。税金の無駄遣いだ。燃焼効率を上げるには、ごみの水分を除いてから、焼却すべきである。
- ・紙ごみや普通ごみの削減について、市が事業所として取り組んでいることは何か。
- ・意見交換会になっていない。一方的な行政からの説明のみ。ごみ処理の現状がわからない。
- ・日々できるだけ無駄なごみがでないように、工夫していきたいと思います。
- ・資料を持ち帰って読み、内容について理解した。今回の説明会は、わざわざ来てもらってするほどではない。内容については、一般市民が具体的に出来る内容に絞る必要がある。
- ・有料化している他都市と隣接している自治会は、隣接市町からごみを持ち込まれて苦労していると聞いている。
- ・「ごみを減らす」という表現は、ピンとこない。
- ・農作業のマルチ（作物を育てている畑のうねを覆う黒色のビニールシート）は、どのように廃棄するのか。
- ・回収所からアルミ缶を持っていく人がいるが、どうすれば良いのか。
- ・不法投棄事案に対して、市は、あまり積極的に動いてくれない。
- ・一般の人への周知方法は大切であり、難しいことだ。今回は役員としては理解しました。
- ・ごみの減量はとても大切なことで、自治会もこの事で問題が多くあります。
- ・作戦1から作戦4までについては、其々、啓発ビデオを作成して市民に観てもらうなど、広く周知を行い、市民が、ごみの減らし方についてわかるようにしてほしい。数値だけでは、例えば、プラごみの削減は、実績から達成できてしまうように思える。もう少し、努力目標が入るような形としてはどうか。
- ・短時間で、説明がわからない所がありました。もうすこし時間を設けて説明が欲しい。
- ・ごみ減量の作戦内容の具体策に欠ける。
- ・関心のない住民に対して、どうするかが問題である。
- ・生活の中で一番難しい問題を簡単に解決はできません。
- ・資料には、海洋プラスチックの問題が抜けている。プラスチックの海洋への流入は、ポイ捨てしたものが、川から海へ流れていると考えられる。
- ・自治会に加入していない市民は、このような説明を受けていないのか。
- ・外国人にも理解できる「ごみ出しのルール」はあるのか。高齢者や外国人に対して、

「ごみ出しのルール」がより分かりやすくなるよう努力してもらいたい。

- ・個人個人の意識向上を図っていく必要がある。
- ・高齢者向けの具体的な説明があると良い。
- ・自治会に所属していない方への情報提供方法を考えてほしい。
- ・ごみがなぜ問題になっているかよくわからない。
- ・市民の普通ごみの範囲が思い違っている。意見の吸い上げをする場は必要である。
チラシ等、多言語で説明できるものもあると良い。
- ・代表者だけでなく、多くの人に話し合いに参加してもらいたい。
- ・意見交換会に参加するような人は、ごみ減量に取り組んでいる。
アパート、借家、高齢世帯、一人暮らしの家庭へどう伝えるかが問題。
- ・ショッピングセンターや店舗などでは、燃えるごみとペットボトルしか分別していないが、
家庭では、ごみを細かく分別しているため、違和感がある。ごみを減量するなら、まちぐるみ
で、分別に取り組むべきでないのか。
- ・週4日、ごみの搬出があり負担となっている。回収を1日で複数種類にする等、回収日や
回収方法を整理するなどして、せめて、週に3日にならないか。
- ・特にありませんがトラブルのない社会にして行きたいですね。
- ・とても良い機会だったと思います。より多くの市民にこのような機会が増えると良いと思います。
- ・継続して周知していくことが必要だと思います。
- ・市のごみ処理場等の見学をすると意識が変わると思うので実施してほしい。
- ・市民及び事業所、アパート、マンションへの徹底をお願いします。
- ・市の中心部と違い、茜部のような新しい人が多い地域は、地域特有のごみの課題や問題点がある
ので、これらを吸い上げてもらいたい。
- ・ごみを出す現場、家庭内での取り組みが大切。他の市町村の現状を考え参考になる情報が欲しい。
- ・買う側の責任の下、分別等やらないといけないのですが、市の方からは業者へも働きかけて少しで
もごみが少なくなるよう皆さんで、やならいと難しい部分があるように思います。
- ・具体的な事例、成果も含めた研修会を一考してほしい。今後も定期的開催してほしい。
- ・分別をきちんと行っていないと、そのままごみが収集されてしまうために、住民の意識が向上
しないのではないのか。
- ・うどん屋や床屋などの小規模な事業所が排出するごみは、普通ごみか、産業廃棄物か。
その区分けは、しっかりとされているか。その区分けを事業者に指導しているか。
うどん屋や床屋は、大量の残飯や髪の毛を普通ごみとして出している。
それらのごみは、産業廃棄物になるのではないのか。
- ・自治会加入されていない方への協力依頼は重要だと思う。
- ・自治会としてごみの削減と資源化に協力していく。
- ・商品が多く、捨てて良いプラカ迷うことがある。回収日のごみ数を見ているといつもより半分程度
しか出ていないようである。ごみ出しの考え方が個人個人バラバラであるので、市が考えるほど
皆は考えない。
- ・説明会はとても良かった。
- ・自治会に入会していない住民もあり、色んな方法で展開してもらいたいと思う。

- ・地域の収集で一部の家庭の方が黒いごみ袋を使用して出されるので困っています。
ペットボトル、缶、ビン等をすべて混合にしてあります。普通ごみも黒い袋を使用して出されますので、困っています。
- ・「広報ぎふ」は、月に2回は必要か。紙ごみの減少になるのでは。形だけの説明会では、無く、真剣に考えているのなら、パワーポイントなど映像や実際に減量した例を示していただきたい。
本日、参加して市の取組は、理解しました。質問をしようと思いましたが、基本的な「減量」ではなく、めんどくさい質問をする人ばかりなのでやめました。私のまわりでは、まだごみはごみ、ごみ箱へ捨てれば、ごみの日に出せば、オッケーという考え方がほとんどです。したがって、基本的に考え方を変える必要があると思います。以前ドイツで年間の死亡事故が大幅に増えてしまい、学校教育(小学生)から、交通安全教育を始め、10年間で半分以下に減じたという講義を受けたことがあります。岐阜市も教育でごみ減量のカリキュラムがあるのでしょうか。直ぐに手をつけない事もあると思いますが、市民一人一人が考え方を改める必要かと思えます。私は、子どもたちの意識改革もお願いしたいと思えます。
- ・ごみの減量・資源化成果を1年単位ではなく経過を公報等で報告があるとわかりやすい。
- ・今年4月頃、薬品のビンがごみステーションに出され、市に調査を依頼したが、なかなか返事もらえなかった。こちらから電話して、何ともないことがわかった。
- ・みんながルールを守れば、環境は良くなると思うが、対象ではないごみを出されて回収されず、結果、地域の環境が悪くなるということもよくある。マナーの問題ではあるが、ルール違反を無くすような意識啓発ができるといい。プラスチックはリサイクルでき、生ごみは肥料にできるという意識を持ち、楽しく分別できる仕組みができるといい。
- ・木の枝は、普通ごみで出せばいいのか。
- ・大いに良い意見交換会であった。頑張りましょう。市民として協力します。
- ・最近、店先に設置されていたコンビニのごみ箱が店内に移った。その影響で、コンビニのごみ袋が投棄されるようになったが、取り締まりはできないか。例えば、鶯谷トンネルは、きれいにしても翌日にはすぐにごみで一杯になる。
- ・ポイ捨てを防止するには、鳥居を設置すると効果的らしいが、ポイ捨てされる場所が移るだけなので、最終的には個人のマナーの問題だと思う。
- ・車の中からごみがポイ捨てされることが1か月に1~2回はあるが、やはりマナーの問題だと思う。
- ・他市町村からのごみ持ち込みについての事例については、どのように考えているか。
- ・パンフレットの内容が細かすぎる。市民向けとして作成するならば、一目でわかるものとされたい。
- ・老人ですので、わかる範囲で協力していきたいと思っています。
- ・情報発信の仕方を工夫してほしい。
- ・ビニール袋など洗わず中身が残っていてカラスのえさとなり散らかる。ペットやカンなどごちゃごちゃで、黄色の紙を貼って「ルールを守って」とあり、2週間ぐらい放ってあったが、ついに持っていかれた。誰かわからず少数の人がルールを守らない人がある。
- ・補足説明まで直接聞くことができたため、より深く理解することができました。
- ・PRについて、プラスチック製容器包装のときは広く行われていた。一方、雑がみのときは

あっさりしていた。自治会に入っていない世帯や集合賃貸マンションでは、あまり告知できていないと思うので、改めてPRしてはどうか。

- ・色々な話から市がごみを減らす工夫をしていることがわかったが、ごみになるものを減らす工夫はどのようなか。過剰な包装にペナルティはつけられないか。自治体から国に働きかけられないか。
- ・自治会へ入っていない世帯への周知はどうしているのか。
- ・ごみの分別回収によって、ごみの量が減少しているが、今後、週2回の収集回数が減ることはあるのか。
- ・ごみ収集運搬の回数減らすことで、コンポストの普及の費用に充てられないか。
- ・町内会に入っていない世帯への周知方法や周知徹底をどうするのか。
- ・各作戦によるごみの削減見込みの目標が実現可能なか疑問な点がある。
- ・大変勉強になりました。
- ・自治体加入率が6割を切っている現状で、非加入世帯に対してはどのように周知するつもりか。
- ・自治会加入率について、市の対応が弱い。他市では自治体加入率9割を超えている。自治体に加入しないとごみを出せないようで、自治体に参加するよう市から案内がある。岐阜市は、それができないのか。
- ・出前講座は、学校などでは行っているのか。親も呼んだりしているのか。人集めも大変なので、学校だと親も集めやすいと思う。高齢者よりも若い世代は取り組みやすいと思う。
- ・隣接する市町の住民が勝手にごみを置いていくことの対策として、ごみ袋に名前を書くなどの対策をした方が良いのではないか。
- ・バケツなどのプラ製品は、粗大ごみとして捨てるようにとのことだが、粗大ごみとして集められた後は焼却されるのか。細かくして普通ごみにしてもいいのか。
- ・非自治会員への周知策は、様々な媒体を利用した周知に加えて、人が集まりそうなイベントの応募ができるPUSH型のスマホアプリを普及させた方がいい。そこで、ごみの減量や資源化をアピールしてみたらどうか。
- ・老人会、会合で意見交換会をする。
- ・市民の関心をつかむような発信が必要。体験型のイベント、他のイベントと一緒に開催する。
- ・ごみの減量と資源化について、授業で説明する。
- ・参加する側に問題があるであろうが、役員ではなく一般の家庭の方々が参加する意見交換会が重要であろうと考える。その担い手の一人が我々役員であると認識して活動したい。
- ・カラス対策でネットをしています。あまり効果がなく、道路に散乱している所があります。なにか有効な手立てがないかと思えます。
- ・他地区（市町村）の状況、取組み、成功、失敗例など、岐阜市との比較データが知りたい。
- ・今でもルールを守らない方がみえていますが、その人達にどのように周知徹底されるのか、考えていただきたいです。
- ・新リサイクルセンターは見学可能か。
- ・自治会に入っていない住民はどこに出せばいいのですか。
- ・ごみステーションに出せない場合は、玄関先にごみを置けば収集してくれるのか。
- ・ごみステーションの管理・設置はだれがするのか。
- ・ルール、マナーの徹底を図ってほしい。

- ・本日は、お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・地元は、ルールを守ってごみ出しをしているが、他地域の人がルールを守らずごみを捨てていく。過去に、ごみステーションに他地域の人が捨てた粗大ごみの処理費用を払えと言われたことがある。
- ・各自治会ともに苦勞していると思いますが、自治会への加入をしない世帯が増えており、その世帯への周知をどうするのが問題だと思います。
- ・広報ぎふを通じて、多くの市民に啓発して頂きたいと思ます。
- ・環境対策の為に、ごみを作らないのが良い。
- ・別の町の袋で捨ててあったことがある。町に連絡したら、岐阜市で対応してくれと言われた。近隣市町と対応について調整して頂きたい。
- ・陶器類やガラス類の収集は、行わないのか。一般ごみのように、曜日を決めて収集する予定はないのか。ポイ捨ては、そういった種類のごみが多いので。
- ・水路敷き上のごみステーションを市が認めていると聞いたが、増えているのか。ごみステーションの確保にお金を払っているところもある。
- ・ペットボトルの分別回収でも、ラベルをはがしていない、中身が洗われていない等の不備が、自治会に入っていない市民に多いように思うが、市は指導しているのか。
- ・パンフレットやチラシは、1枚で見やすく、はっきりわかりやすくしてほしい。「岐阜市のごみ減量・資源化について」のような冊子は、誰も見ない。
- ・水害時のごみの集積場所は、マニュアル等で定めているのか。配布された覚えはない。配布しておかなければ、住民が勝手にいろんな場所に捨ててしまう。
- ・ごみの収集や資源分別回収等は、市民の援助や好意のもとで成り立っているのだということを念頭に置いて、ご対応いただきたい。
- ・ホームページ掲載の説明では、不十分だ。デジタル化を推進するばかりではなく、必要な部分はアナログで周知してもらいたい。
- ・自治会費が払えない独居老人等、自治会を脱退しようとする人に、ごみを捨てるのに困るから自治会に残ってくださいと提案すると、市に確認をしたら自分の家に取りに来ると言われたそう。自治会加入を推進する市として、その回答は問題ではないか。市からもごみは地域の収集場所に捨ててくださいと回答していただきたい。
- ・このチラシなど「ごみ」としている表現を、例えば「有価物」など別の表現にしたらどうか。
- ・ペットボトルは、潰して出してくださいとされているが、なかなか潰せない。
- ・キャップの付いているペットボトルは、収集されず、イエローカードを貼られる。
- ・イエローカードは、出した者がそれに気づかないので意味がない。ごみに名前を書いて出した方がよい。下呂市や松本市、池田町でやっている。
- ・地域内にも日本人ではない方、中国人が住むようになった。対応に苦慮し、木田環境事務所にもお世話になり、最近何とかなっている。今後、いろいろな言語に対応した「ごみ出しルール」など、持続していくためには、いろいろと工夫が必要である。
- ・岐阜市は、自治会などに、ごみステーションの維持管理に係る経費が還元されていない。有料化は、しっかりと根拠を提示してから説明したほうが良い。
- ・自治会加入者・未加入者に関係なく、もっとごみに対しての説明をしてほしい。

加入者にも理解している人と理解が難しい人がいるので難しいと思いますが、努力してほしいです。我が家では分別してからごみ袋の数が少なくなりました。

- ・色々な意見が出て良かった。
- ・色々な団体を対象に説明会を開催してほしい。
- ・各個人にごみ減量する意識の植え付けを継続して行うようにしてほしい。
- ・ごみステーションに、自治会未加入者が、早朝に勝手に出している。ステーションを移動させた際に住民が揉めたことがある。自治会員と自治会未加入者が平等なのはどうか。
- ・岐阜市で、ごみステーションの設置の受付はどうなっているのか。地元の了解なしに認めているステーションはないのか。また、そういったことのないように、設置については厳しく行ってほしい。
- ・岐阜羽島衛生施設組合の焼却場がなくなったが、焼却場を持たない市町のごみを岐阜市は受け入れているのか。
- ・市民病院は、他市町からの患者を受け入れているが、料金に差異をつけていない。ごみも最終的に他市町から受け入れることにならないか。その時には、負担してもらわなければならないか。
- ・話を聞くと理解できることが多いので、こういう機会が増えると良い。
- ・ガスボンベ・殺虫剤などのスプレー缶のガスを抜いて出すのか、そのまま良いのかわからない。外でガス抜きをしていたら臭いが辺りに広がり火災が気になり迷うことがあります。説明会の回数を増やして詳細を学習していきたい。
- ・商品を包み方が、昔は簡素であった。時代の推移はあるが、今は過剰な包装になっている。行政として、そのような過剰包装を事業者に対して指導する事ができないのか。
- ・市民の意識改革や過剰包装削減などのアピールを行政として取り組んでほしい。
- ・市民がごみから資源へリサイクルへという意識を強く持てるPRをやっているほしい。
- ・自治会長でなく、主婦などもっと違う人のほうが意見がでるのではないか。
- ・高齢者の方のサークル、とかいきいきサロンなど平日の午前、午後で公民館を使用している人たちを集めていただき、その人たちとの意見交換をしていくと良いと思います。
- ・わかりましたが、文章を読んだだけ。私共をバカにしているのですか。書いてないことを説明して下さい。
- ・市民のごみから再生の意識を高める活動をしていきたいです。市民にも目を引くような働きかけをしていきたいです。
- ・アンケートや資料のペーパーレス化で紙ごみを減らす。
- ・自治会加入者が、5割を切っている状況で、自治会に入っている人だけが、ごみの減量に取り組んでも仕方がないと思う。自治会に入っていない人に、ごみの減量に関する資料の配布や、この活動を認知してもらうための対策は、行っているのか。
- ・この資料の内容は、すべて市からの押し付けに見える。ごみ排出を減らすための方法や、分別によって、どのような効果があるか、何に生まれ変わるのかといったことが分からないと、我々が自発的に賛同していこうという気持ちにならない。そのあたりも周知していただきたい。
- ・市が委託した民間の会社が、ごみの回収に来ているが、今後も民間にごみの回収は頼るのか。
- ・現在、20世帯くらいの単位で1か所にごみを集めているが、それを戸別回収にできないか。

そうすることで、自分の家庭が出すごみに対して責任が伴い、ごみ出しのマナーが守れない人が減るのではないかと。

- ・ プラ再生品の紹介、自治会単位でのごみ分別講習実施で推進、ごみ集積場所での分別ポスターの貼付をしてください。
- ・ 参加人数が少なく住民のごみへの意識の低さがわかった。
- ・ 岐阜市がごみ減量日本一になるくらい、活動を大きくするのが良い。頑張りましょう。
- ・ 様々な意見が出て大変参考になりました。
- ・ 自治会に入会していない世帯及び外国人世帯への周知方法について検討されたい。
- ・ 特にありませんが、回収に関しては一般企業と、市が、手を組めば良いと思います。
- ・ 特に小さい時からの教育が重要であると思います。
- ・ 自治会連合会より、もう少し広い範囲で周知したほうが良い。このような話を聞く機会が少ない。有料化を丁寧に進めてください。ポイ捨てが増えると思うので、対策と同時進行でお願いします。
- ・ ルールを守らない人をどうするかを検討してください。
- ・ 一般市民へのPRがもっとも必要だと考える。
- ・ 今後も回収に協力していきたいと思います。
- ・ 一人一人がごみの分別に真剣に取り組めたら良いと思いました。
- ・ 単独開催ではなく、出来れば自治の総会時に市からの出席が可能ならベター。
- ・ 説明は、ポイントを決め、短く明快にしてほしい。
- ・ 皆さんの日常の努力に感謝します。
- ・ ご苦労様です。
- ・ 今後とも、自治会単位での説明をお願いしたい。
- ・ 資料は簡単にして読みやすくした方が良いのではないのでしょうか。
- ・ イエローカードは、何が悪いかわかるようにしてほしい。
- ・ 意見交換会での質疑応答の結果を報告してほしい。
- ・ 広報等で個別に資料を添付してほしい。
- ・ 自治会のごみステーションに自治会未加入者がごみを捨てても良いと職員が言っているのを止めてほしい。
- ・ ごみステーション設置の補助をしてほしい。
- ・ 市として具体的に困っていることを市民に訴えていけば、理解を得られるのではないかと。
- ・ 自治会加入率が半分に近くになりつつある。この対策が先である。
- ・ 町内の全員の方にごみの出し方をはっきり説明したいと思います。
- ・ ごみ出しのルールについて、回覧版やごみ集積場のケージに看板を取り付けて徹底を図っているがまだまだ、守られていない。いい加減な人が少数いる。減量・資源化について、TV等で啓発してはどうか。
- ・ ごみの減量又は資源化に関する意見交換会の内容の出前講座をやると良い。
- ・ 民間の回収ボックスは、行政から支援金が出ているのか。自治会の奨励金は減るが、リサイクルされているならよいと考えている。
- ・ ごみステーションにネットやボックスなど、市から何か用意してもらえないかと。
- ・ ごみの減量と資源化を一般市民の啓発をもっとした方が良い。

- ・（リサイクルの）現場を見たい。
- ・新しい焼却場について、候補地の地区が反対しているため進まないと聞いているがどうなのか。
- ・他都市から来た人のごみの持ち込みがある。どうすればよいか。
- ・自治会非加入者が、自治会で管理しているごみステーションを使用する。自治会費でカラス除けのネットを購入したり、ごみステーションの場所を決めたりしている。ごみの処理を、自治体加入者と非加入者で分ける制度は、設けられないのか。他都市の話を知ると、自治会非加入者は、個人で、有料でごみを処理していると聞く。
- ・ある自治会で、自治会非加入者に、今後は自治会が管理しているステーションには、ごみを出さないよう申し出た。今後ごみを出す場所については、市に問い合わせるよう伝えた。その後、その方は、自治会に加入した。今後このように、市に問い合わせるよう伝えてもよいか。
- ・現在、岐阜市で自治会に入っているのは58%だと聞いた。残りの42%の方に、このような意見があったことを伝えてほしい。
- ・多治見市から岐阜市に引っ越してきたが、ごみの出し方、収集、分別の仕方などが、あまりにも違う。岐阜市は、ごみを各戸収集のような形でやっているため、収集する職員が収集車を降り、走って集めたりしている。町内で集積場所を決めて収集するようになれば、職員も楽だし、時間も短くて済むことから、収集コストを抑えることもできると思う。
- ・出されたごみは、分別がはっきりできていないものが多く、ひどいものはガレキが混ざっていたりし、他市に住んでいた立場から見るとあり得ないと感じるし、ごみの分別に対する市民の意識が低いと感じる。
- ・粗大ごみの袋を購入のために旧市庁舎へ行った際、職員の対応がいかにも不親切で横柄だった。ごみ問題に対する市職員の意識が低ければ、市民の意識を高めることもできないと思うので、職員教育も重要と考える。
- ・ビン・カン・ペットの収集では、全部同じ袋に入れて出されていたり、袋は分けてあっても、出す場所を分けて混在して出されていたりする。自分が気づけば、出された袋を種別ごとに整理したりしている。他市では、ビン・カン・ペットごとに分けて出せるよう、集積場所にカゴを置いたりしている。袋は、種別ごとになっても、その袋が混在して置かれていると、収集する人の手間が大変だし、時間もかかることになる。そのための人件費も相当なものになると思う。
- ・名古屋市の場合、多治見市の山間部にある愛岐処分場が一杯になり、ごみの持って行き場がなくなったために、市が必死になってごみ減量に取り組んだ経緯がある。ごみ減量を本気で進めるには、覚悟が必要だと思う。
- ・高齢者等は昼間の方が参加しやすいので、そういう時間も開いてください。
- ・啓発は砂漠に水を撒くような思いをすることもありますが、続けていくことが大切なので、今後ともがんばっていきましょう。
- ・ごみの減量と資源化に係る情報発信が弱い。
- ・ごみの資源化に向けて産・官・学の連携を一層進め、無駄なく資源を生かす方向へ進めて欲しい。
- ・担当者の皆様のご苦勞に感謝します。情報の発信をよろしくお願いします。
- ・生産者責任を今以上にしっかり負っていただく仕組み、義務化・厳罰化を進めて欲しい。作る側の責任をとらせることを進めて欲しい。
- ・コロナの時勢の中で、一般住民に説明を行う機会が無いので困る。大きい文字の「単純な」回覧文をお願いしたい。

- ・普通ごみと雑がみの分別、プラごみと普通ごみの分別がしっかりできていなかったと思った。やっぱり、こういう会はもっとやった方がいいと思った。
- ・市民に（特に自治組織に加入しない市民に）どう説明していくのか。地域では自治会員と非会員のトラブルも存在している。自治組織加入率60%が問題となる。
- ・意見交換会もさることながら、処理場等を市民に公開する方が良く理解すると思う。ごみ1/3減量は、大変エネルギーのいる取り組みだと思います。減量を大きくするには、やはりごみ処理有料化が手っ取り早いと思う。有料化は結構だと思う。ただし、不法投棄に伴う法整備が大切なことと思う。
- ・分別をより具体的にわかるようにしてほしい。（絵や写真等）
- ・今年11月に、4年生児童に環境学習を行う予定であり、ごみ減量に関して、自分自身でできることを考えさせたいと思っている。自身の質問や意見ではなく、地域の方がどうしているかを聞きたいと思い、本日参加したが、これまでに他の会場では、地域の方からどんな質問や意見があったのか。
- ・ごみ減量や資源化は、子どもたちと一緒に考えていきたい。市の作戦の中には、子どもたちが今できること、将来できることがあると思うので、そこを伝え考えたいと思う。
- ・今年度、ダンボールコンポスト講座に参加した。今後の授業では、東部CCの出前講座や市リサイクルセンターの見学などを予定しており、自身も施設の下見をしている。市民の一人として、また、子どもたちにも考えさせていかないと、目標である10万t以下を実現できないと思うので、今後も子どもたちとともにごみ減量に協力していきたいと思う。
- ・説明内容は、素晴らしいと思うが、少人数しか集まらないのでは、意見交換会の意味がない。なぜ、環境推進員全員に連絡しなかったのか。もっと人を集めるべきであった。
- ・地域の方が、どんなことを考えておられるのかを知りたくて参加した。今、子どもたちもごみを減らさなければいけないと思っている。啓発活動やこういった会は大切だと思う。私も有料化については、今やれているので、このままサービスとしてやっていただきたいと思ったが、これを含め、紙ごみ、生ごみ、プラごみの削減を、子どもたちに啓発する場合に、どう伝えたら良いか。
- ・意見交換会の開催についての連絡の仕方が悪い。
- ・もっと様々な方法で、ごみ減量をみんなで取り組んでいこう。
- ・地域の収集場所に分別区分、収集曜日を明示していただけると良いのでは。
- ・市民一人ひとりのごみ減量に対する意識をもっと高める。
- ・ペットボトルは、潰して出すのはわかったが、空き缶はつぶした方がいいのか。
- ・作戦1から作戦6の経過をタイムリーに報告してほしい。その為にもこのような場を設けてほしい。
- ・自治会未加入者に協力をお願いしたいが、面識がなく困っています。重要な内容があれば、このような会を開催して下さい。
- ・資料1と資料2をセットで各連合会の支部長会議等に説明会を開催してもらおうと、幅広く知ってもらえると思う。
- ・ビン・缶・ペットボトルで、ルールを守られていないごみは、イエローカードを貼り収集しないとあるが、市は処分しないのか。
- ・内容が推進員向けではなく一般市民向けの内容ではないか。もっと多くの市民を対象にしたら良いのでは。

- ・地区代表者に、もっと専門的に時間をかけて開催するといひ。
- ・県内外の地域の実施状況も踏まえて、本市で出来ることを追求してほしい。
- ・連合会長・環境推進員に何を要望しているのか。データ資料の報告のみで改善策が施されていない。毎回同じ内容の運営であり中身がない。
- ・ごみ減量は、消費者側の努力だけでは無理であり、売り手側の意識を変えることが必要。人口減により、ごみ量は、自然減しかないのではないかと。
- ・会議の資料をデジタル化する。
- ・回答者がつたない。分かりづらく自信がみられない。
- ・環境推進員としては理解出来たが、市民1人1人の理解が必要。雨の日の古着の件、プラごみ、ビン・カン・ペットボトルの出し方等、回覧板等の活用をもう少し出来たらと思う。
- ・環境推進員を対象として研修だけでなく、広く一般市民に対しどの様に理解してもらえば良いか検討の必要がある。いかに資源問題に関心を持たせるかが必要。
- ・ごみ、資源、難しい問題ですね。
- ・マスクをしているせいか言葉がはっきり聞こえないのが残念。
- ・研修会をする以上、市から地域から最新の提案がほしい。
- ・研修会の進め方を考えてほしい。大事なことは何か、それに重点をおくべき。知りたいプラ容器の状況に時間を使ってほしかった。資源分別回収の説明に時間をかけすぎ。
- ・粗大ごみオンライン受付のチラシが回っていましたが、極めて読みたくない資料でした。周知文面にQRコードを付してもらえると有難い。
- ・連合会会合時と同様の内容だった。各自治会の会長の参加があり裾野に広がり良いと思った。
- ・説明した課長がしっかり状況を把握しているので良かった。
- ・回収してしまっは、啓発に繋がらないのではないかと。
- ・市から直接話が聞けて良かった。
- ・一般市民への分別回収の約束事の徹底をお願いします。イエローカードの未回収ごみは止めてもらいたい。自治会連合会の責任ではないと思う。未回収ごみの後処理が大変です。
- ・金属のキャップは、粗大ごみで出すことになっているが、各家庭は「粗大ごみ処理袋」に何年も溜めておかなければならない。金属だからカンと一緒に出していいのではないかと。なぜ、カンの収集日に一緒に出しては、ダメなのか。
- ・自分の家庭では、粗大ごみ処理袋を出すのは、年に1、2回程度だ。その状況で何年も溜めておくのか。他のことでも市民は困っていることがあるのではないかと。市は、もっと細かいところまで配慮して対策をとるべきだ。市では、粗大ごみに含む金属キャップがどう処理されているのか、把握しているか。
- ・家庭ではない団体（教会）が一度に多量のごみを出すので困っている。
- ・詳細な施策が明確であれば良い。市民に分かり易い方法が周知できれば。
- ・ごみに貼付するイエローカードの内容（収集しない理由）が、項目別になっていて、非常に分かりにくい。理由を箇条書き等で書いた方が、分かりやすいのではないかと。
- ・付近のごみステーションに、事業者と思われる剪定枝が排出されていることがある。これは適正なのか。
- ・ビン・カン・ペットボトルの収集時刻が、いつも15時頃である。もっと早くできないかと。

- ・「なんでも引き取ります」と記載したチラシが投函されることがあるが、ほとんどが市の許可がない業者と考えて良いか。
- ・ペットボトルはつぶした方が良いのか。利点はあるのか。良いのであれば、住民につぶすよう声掛けする。
- ・当分、出前講座は、継続的に実施されたい。
- ・行政の立場上、法律に従った回答は止むを得ないと考えます。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・研修会の時間帯が良かった。駐車場が多くて助かった。
雑がみ回収袋の要望が多く出ています。
- ・各家庭にごみについてのアンケートを取ってみてはいかがですか。
- ・他の方の意見が聞けるので開催してほしい。
- ・夜間の研修会は、止めてほしい。夜間の運転を控えたい。
- ・ペットボトルはつぶしてとのことだが、一人暮らしの老人は、手足に力が入らないので、つぶすのが大変です。出来る限り若い人に頼っていますが。